Panasonic

施工説明書

アラウーノ専用手洗ユニット（キャビネットタイプ）

水 栓	手動水栓	自動水栓
本 体	GHA7FR2SR(L)	GHA7FR2JR(L)(7)
扉	GHA1T2 □□	
カウンター	GHA17RC □□	
配 管	GHA100R（アラウーノ　リフォームタイプ用） GHA100P（アラウーノ　壁排水タイプ用） GHA110　（アラウーノＳ・アラウーノＶ用）	

□□：色品番

もくじ

●施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」（3 ページ）は、施工前に必ずお読みください。
●施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
●取扱説明書（保証書付き）、施工完了チェックリストは必ず必要事項を記入のうえお客様にお渡しください。
●便器を取り付ける前に「アラウーノ専用手洗ユニット」を先に取り付けてください。

SEMS051

施工チャート

手洗い

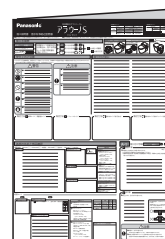
本 書

アラウーノ専用
手洗ユニット

便 器

別 冊

それぞれの便器の施工説明書にしたがって「止水栓の取り付けと床工事」を行ってください。

アラウーノ

アラウーノS

アラウーノV

別 冊

それぞれの便器の施工説明書にしたがって「便器の取り付け」を行い、以降の施工をしてください。

アラウーノ

アラウーノS

アラウーノV

安全上のご注意 （必ずお守りください）

◎人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる 危害や損害の程度を区分して、説明しています。		■お守りいただく内容を、 次の図記号で説明しています。	
⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	 禁止	してはいけない内容です。
	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。	 必ず守る	実行しなければならない内容です。

⚠警告

 禁止	● **バスルームなどの湿気の多い場所に設置しない** 感電や火災の原因となります。 ● **分解・改造はしない** 感電・火災・けがの原因となります。	● **屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所には施工しない** 本体が破損し、発火や発煙の原因となります。
 必ず守る	● **自動水栓タイプの場合、電源は必ず交流100V（15A以上）の専用回路が設けられていることを確認する** 感電や火災の原因となります。	● **電気工事は、関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」が行う** 漏電・火災・水漏れの原因となります。

⚠注意

 禁止	● **給水管に強い力を加えない** 破損により水漏れの原因となります。	
 必ず守る	● **施工後は必ず試運転し、配管に水漏れがないか確認する** 水漏れ、拡大損害の原因となります。 ● **施工後は必ず手洗いボールや扉のがたつきがないことを確認する** 扉の落下によるけがの原因となります。 ● **壁面の固定は必ず同梱の指定ねじ、指定金具を使用する** 転倒・落下によるけがの原因となります。 ● **施工時は製品の転倒に注意する** けがの原因となります。 ● **壁面固定位置の壁面強度が十分あることを確認する 十分な強度がない場合は、12mm以上の合板で補強する** 転倒・落下によるけがの原因となります。	● **カウンター施工パネルの固定ねじは、必ず500mm以下のピッチで固定する** カウンターが落下し、けがの原因となります。 ● **ねじ頭が飛び出たままにならないように最後までしっかりとめる** 配管を傷つけ、水漏れの原因となります。 ● **排水ジョイントにしわができないようにホースバンドを締めつける** 水漏れの原因となります。 ● **水道工事は、関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」が行う** 水漏れの原因となります。 ● **上水道に接続する** 故障・肌のかぶれの原因となります。 ● **凍結のおそれのある地域では、水抜きなどの凍結防止措置を行う** 水漏れなどで家財などに損害を与える原因となります。

各部のなまえと部品の確認

【本体キャビネット】

番号	部品名称	入り数
1	手洗いボール（給水栓付）	1
2	手洗い施工パネル	1
3	側板	2
4	後桟	1
5	蹴込板	1
6	底板	1
7	幕板	1
8	コントロールユニット	1※1
9	エルボ付給水ホース	1※1
10	フレキ管	1※1
11	止水栓セット	1
12	UPトラップ	1
13	テールピース	1
14	Uトラップ	1
15	ねじセット1	1※2
	施工パネル固定ねじ 皿木ねじφ4.5×45mm　4本 ボール固定ねじ トラスタッピンねじφ4×45mm　2本 コントロールユニット取付ねじ トラスタッピンねじφ4×25mm　2本	
16	ねじセット2	1
	キャビネット壁面固定ねじ 皿木ねじφ4.5×45mm　2本 床固定ねじ 丸木ねじφ3.1×25mm　2本 幕板固定ねじ 小ねじφ4×25mm　2本 ワッシャー　4個 化粧キャップ　4個	
17	取扱説明書	1
18	施工説明書（本書）	1
19	施工型紙	1

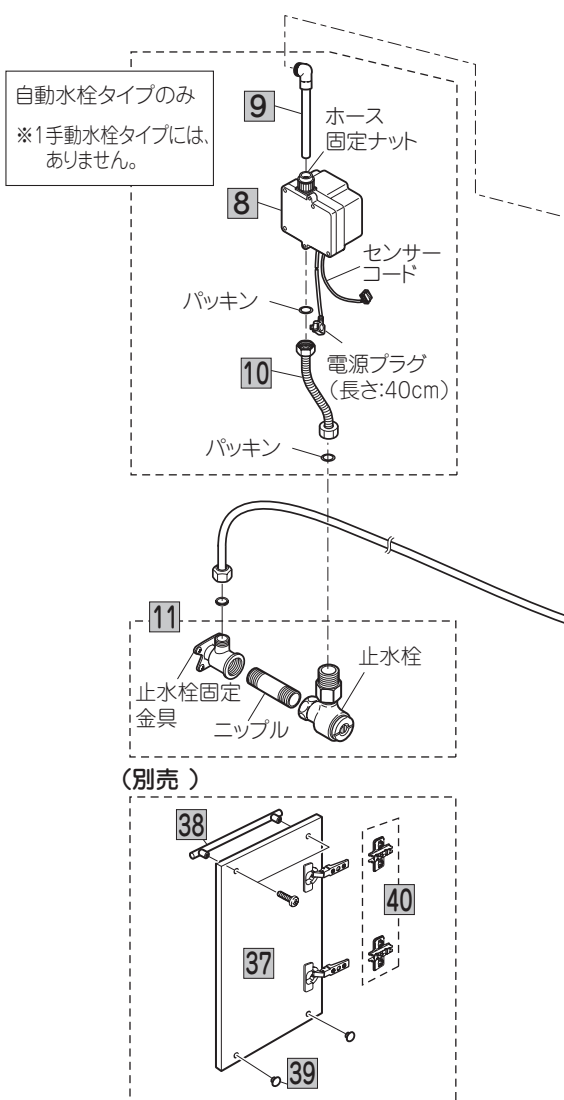
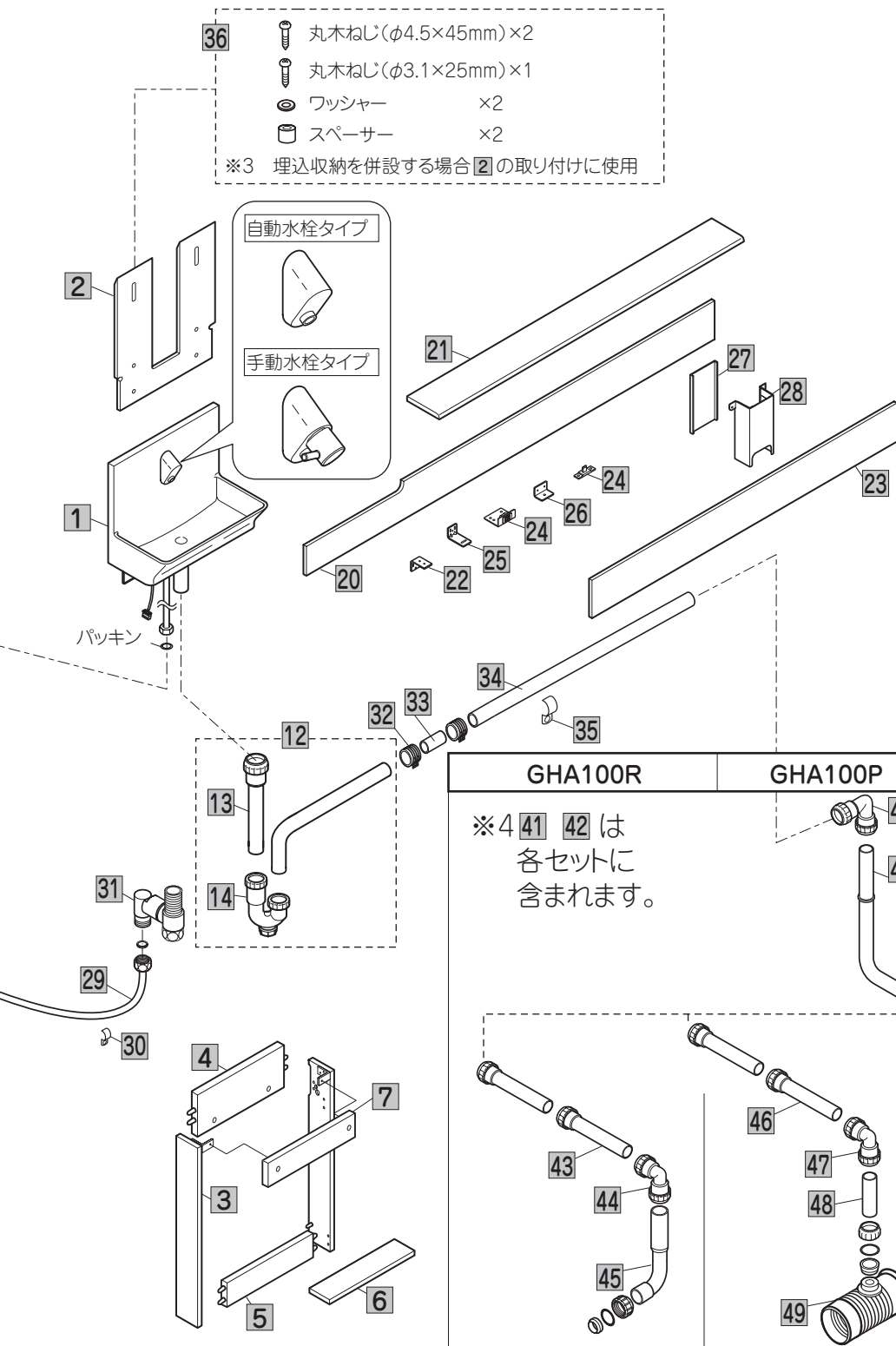
【カウンター】

番号	部品名称	入り数
20	カウンター施工パネル	1
	施工パネル固定ねじセット 皿木ねじφ4.5×45mm　6本	
21	カウンター	1
22	カウンター固定金具セット	1
	カウンター固定金具　4個 壁面固定ねじ トラスタッピンねじφ4×45mm　12本 カウンター固定ねじ トラスタッピンねじφ4×16mm　8本	
23	幕前板	1
24	幕前板固定金具セット	1
	幕前板固定金具（ラッチ付）　2個 ストライク　2個 ストライク取付ねじ なべねじφ3.1×16mm　4本 金具固定ねじ トラスタッピンねじφ3.5×16mm　6本	
25	前板固定金具セット	1
	前板固定金具　2個 前板固定ねじ 丸木ねじφ3.1×16mm　6本 白ユリアねじ ユリアφ4×16mm　2本	
26	前板取付L金具セット	1
	前板取付L金具　2個 前板取付L金具ねじ なべねじφ3.1×13mm　4本	
27	配管カバー受け	1
28	配管カバー	1
	配管カバー取付ねじセット 配管カバー受け固定ねじ トラスタッピンねじφ4×20mm　4本 配管カバー固定ねじ 皿ねじφ4.5×20mm　1本 ワッシャー　1個 化粧キャップ　1個	
29	給水ホース	1
30	給水管固定サドル	5
	給水管固定サドルセット サドルバンド固定ねじ トラスタッピンねじφ4×20mm　5本	
31	分岐水栓	1
32	ホースバンド	2
33	ゴム接続管	1
34	塩ビ管	1
35	配管固定サドル	3
	サドルバンド（大）セット サドルバンド固定ねじ トラスタッピンねじφ4×20mm　6本	
36	施工パネル用ねじセット	1※3

【 扉 】

番号		部品名称	入り数
37	別売	扉	1
38		取っ手	1
39		穴隠しキャップ	2
40		丁番台座	1

⚠注意

施工時は製品の転倒に注意する
けがの原因となります。

【配管】

番号	部品名称	入り数
41	エルボ	1※4
42	L管	1※4

番号	品番	部品名称	入り数
43	GHA 100R	ねじ付ストレート管	2
44		エルボ	1
45		PS管	1
46	GHA 100P	ねじ付ストレート管	2
47		エルボ	1
48		直管	1
49		排水ジョイント	1
50	GHA 110	ねじ付ストレート管	2
51		導入L管	1

15 ねじセット1

用途	内容
施工パネル固定ねじ	皿木ねじ（φ4.5×45mm）×4 ※2 埋込収納を併設する場合は、使用しません。
ボール固定ねじ	トラスタッピンねじ（φ4×45mm）×2
コントロールユニット取付ねじ	トラスタッピンねじ（φ4×25mm）×2

16 ねじセット2

用途	内容
キャビネット壁面固定ねじ	皿木ねじ（φ4.5×45mm）×2
床固定ねじ	丸木ねじ（φ3.1×25mm）×2
幕板固定ねじ	小ねじ（φ4×25mm）×2
ワッシャー	×4
化粧キャップ	×4

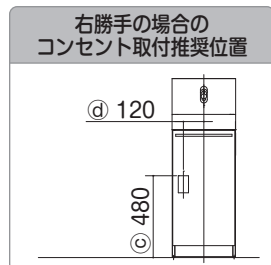
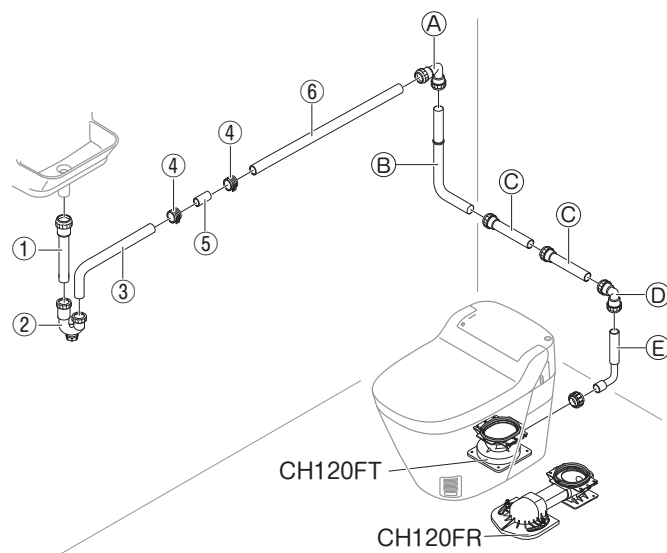
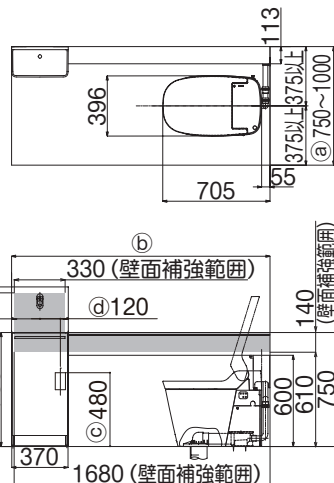
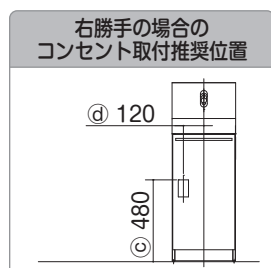
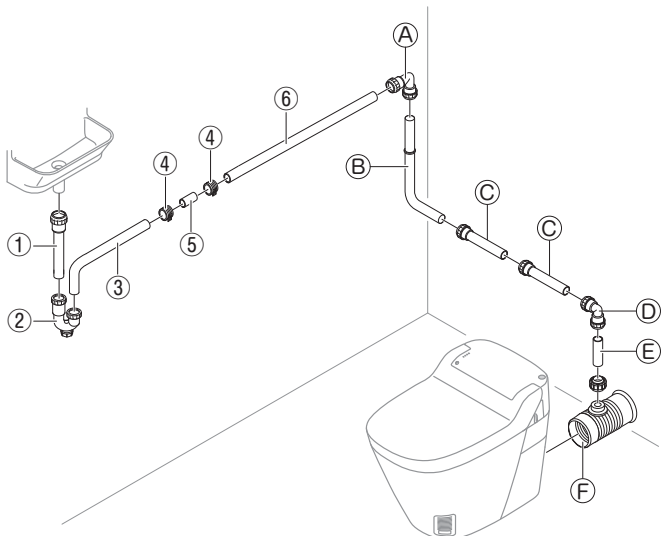
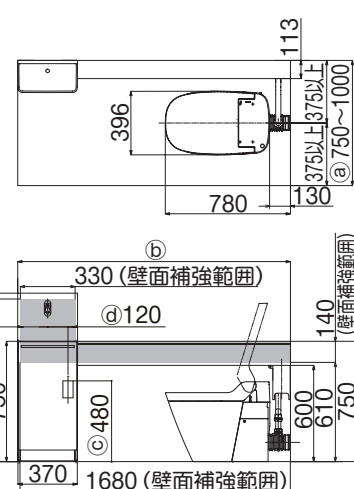
寸法図・配管接続図

●図は、左勝手の場合です。右勝手は本図と対称になります。　●ⓐ寸法は、アームレストがない場合を示します。
●手洗いの奥行寸法（ⓑ寸法）は、トイレルームⓐ寸法によって異なります。
●ⓐ寸法が 1001 ～ 1200 の場合は別途延長排水管（CH110T08ST）が必要です。

アラウーノ 床排水タイプ

ⓐ< 815mm の場合　ⓑ= 1435 ～ 1700mm
ⓐ≧ 815mm の場合　ⓑ= 1260 ～ 1700mm（※ 1）
※ 1）ⓑ= 1260 ～ 1434 の場合、ペーパーホルダーの取り付ける位置によっては、
手狭に感じる場合がありますので、反対側の壁などに取り付けて頂くことをおすすめします。

●下記品番は商品品番です。

アラウーノ 壁排水タイプ

ⓐ< 815mm の場合　ⓑ= 1535 ～ 1700mm
ⓐ≧ 815mm の場合　ⓑ= 1360 ～ 1700mm（※ 1）
※ 1）ⓑ= 1360 ～ 1534 の場合、ペーパーホルダーの取り付ける位置によっては、
手狭に感じる場合がありますので、反対側の壁などに取り付けて頂くことをおすすめします。

●下記品番は商品品番です。

「GHA7FR2S(J)R(L) 」に同梱
①　②　③
ℓ＝100　ℓ＝320×99

「GHA17RC」に同梱
④ ④　⑤　⑥
ゴム管(黒)　塩ビ管VP25
ℓ＝1070

「GHA100P」に同梱
Ⓐ　Ⓑ　Ⓒ　Ⓒ　Ⓓ　Ⓔ　Ⓕ

ⓐ トイレルーム間口寸法
ⓑ 手洗い奥行き寸法
ⓒ コンセント取付推奨位置
ⓓ コンセント取付推奨位置

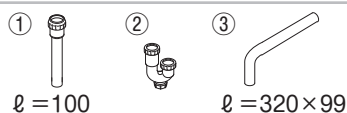
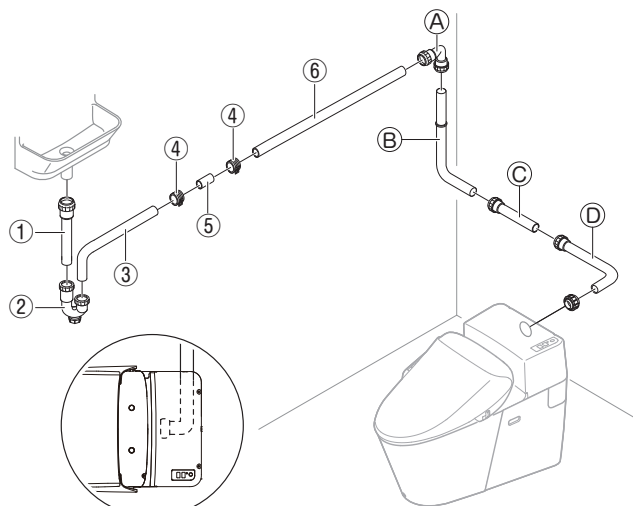
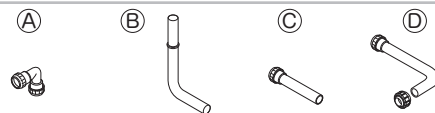
アラウーノS

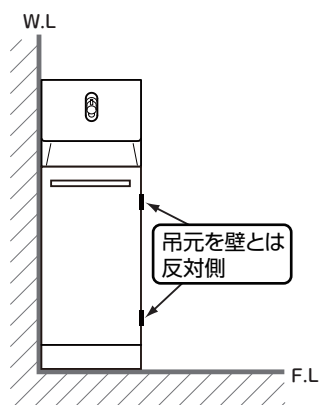
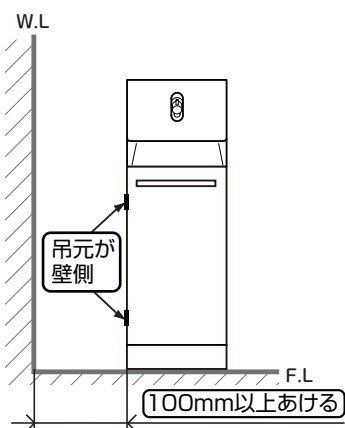
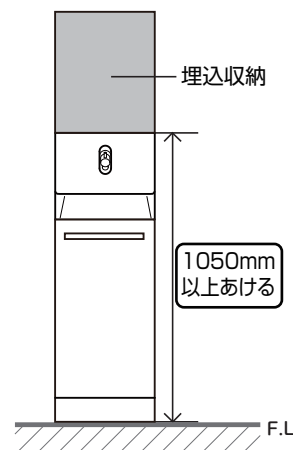
ⓐ< 815mm の場合　ⓑ= 1435 ~ 1700mm
ⓐ≧ 815mm の場合　ⓑ= 1260 ~ 1700mm（※ 1）
※ 1）ⓑ= 1260 ~ 1434 の場合、ペーパーホルダーの取り付ける位置によっては、
手狭に感じる場合がありますので、反対側の壁などに取り付けて頂くことをおすすめします。

●下記品番は商品品番です。

アラウーノV

ⓐ< 815mm の場合　ⓑ= 1435 ~ 1700mm
ⓐ≧ 815mm の場合　ⓑ= 1260 ~ 1700mm（※ 1）
※ 1）ⓑ= 1260 ~ 1434 の場合、ペーパーホルダーの取り付ける位置によっては、
手狭に感じる場合がありますので、反対側の壁などに取り付けて頂くことをおすすめします。

●下記品番は商品品番です。

施工前の確認

1. 使用水圧範囲は、0.098MPa（流動時）～0.735MPa（静止時）です。
2. 便器への立ち座り時に、動作の邪魔にならない位置に施工してください。
3. 扉が便器に当たらない位置に施工してください。
4. アームレスト付の便器と組み合わせて施工する場合は、アームレストの動きを妨げない位置に施工してください。
5. ミラーや収納を併設する場合、手洗いから先に施工してください。
6. 本書は左勝手の場合のイラストで説明しています。右勝手の場合は対称となります。
7. 扉が壁にあたらないよう、扉の吊元やキャビネットの設置位置を確認してください。
8. 埋込収納を併設する場合は、埋込収納の設置高さを確認してください。

1 止水栓の取り付けと床工事

※それぞれの便器の施工説明書にしたがって作業を行ってください。

アラウーノ

	標準	リフォーム
床排水	P.13 1 2	P.17 1 2 P.18 3

壁排水	P.6 ❶ P.7 ❷ P.11 ❸ 1

アラウーノS

	標準、高層階	リフォーム
床排水	P.1 A-1 1 2 3 4	P.2 B-1 1 2 3 4 5 6

壁排水	P.3 C-1 1 2 3 ❶❷

アラウーノV

	標準	リフォーム
床排水	P.15 手順1 ～ P.17 手順4	P.19 手順1 ～ P.23 手順6

	後ろ抜き
壁排水	P.12 手順1 ～ P.13 手順3

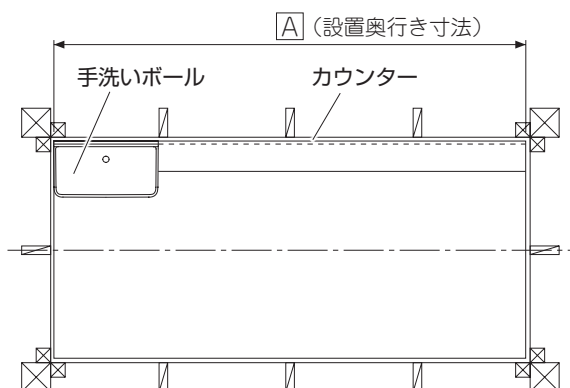
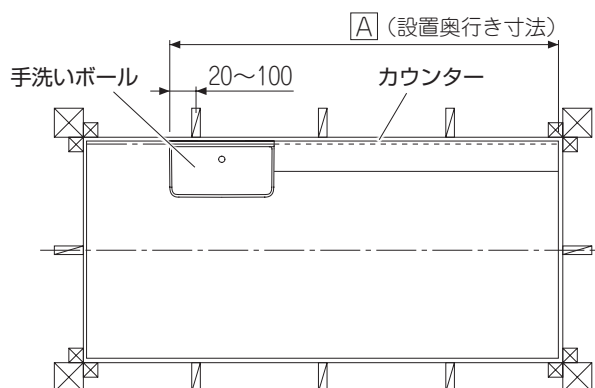
2 カウンターの取り付け

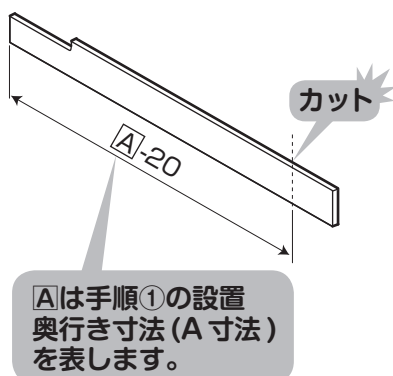
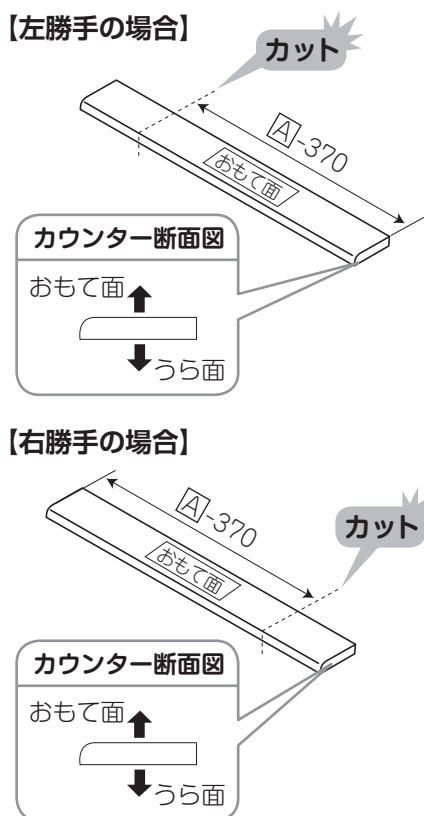
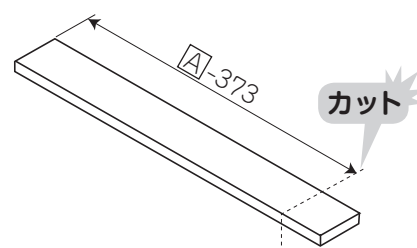
（寸法単位：mm）

※水道の元栓を締め、近くの蛇口などで給水が止まっていることをご確認ください。

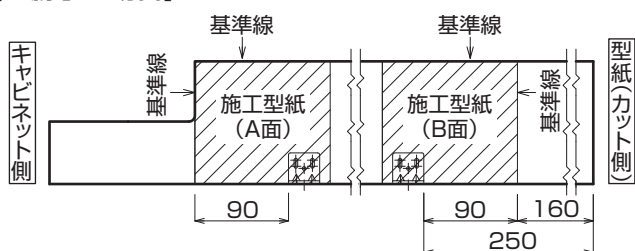
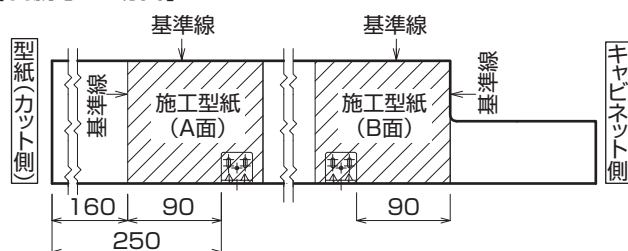
1. カウンター取り付け前に

① 設置奥行き寸法（A寸法）を確認する。

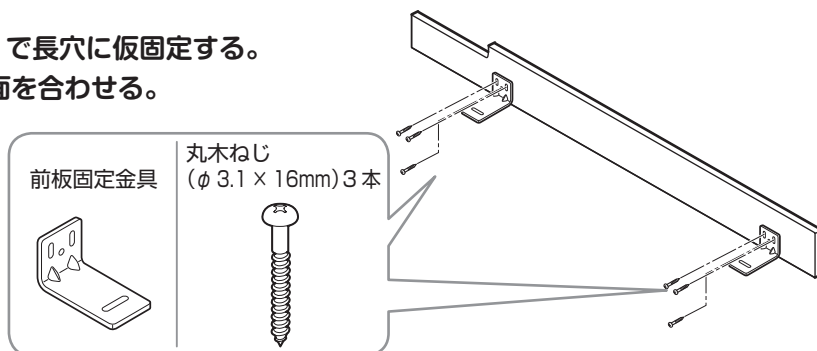
【ウォールトゥウォールの場合】

【ウォールトゥウォールでない場合】

② カウンター施工パネル・カウンター・幕前板を丸のこでカットする。

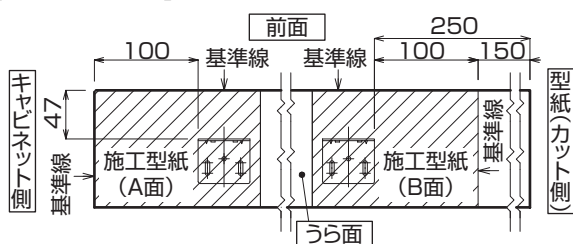
・カット後、端面のバリを取ってください。

カウンター施工パネル	カウンター	幕前板
1700×118×12	1350×113×15	1330×132×15

2. 金具の取り付け

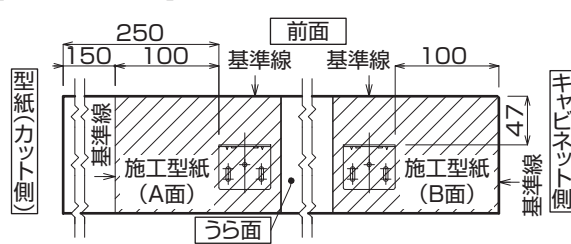
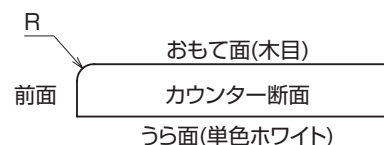
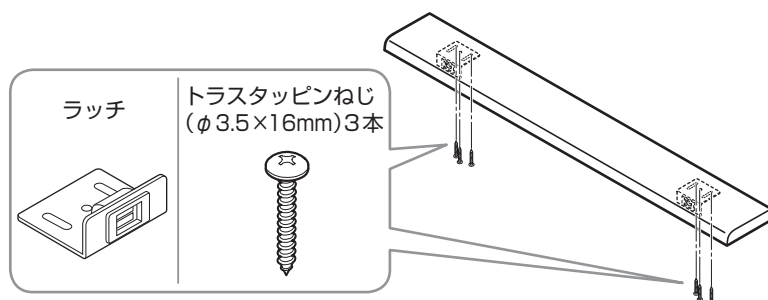
カウンター施工パネル

① **基準線に合わせて型紙を置く。**
② **長穴中心位置をけがき、型紙を外す。**

【左勝手の場合】

【右勝手の場合】

③ **前板固定金具を丸木ねじ（φ3.1×16mm）で長穴に仮固定する。**
④ **前板固定金具とカウンター施工パネルの端面を合わせる。**
⑤ **丸穴に丸木ねじ（φ3.1×16mm）を固定し、長穴のねじを増し締めする。**
・金具に浮きがないように
　しっかり増し締めしてください。

カウンター

① **基準線に合わせて型紙を置く。**
② **長穴中心位置をけがき、型紙を外す。**

【左勝手の場合】

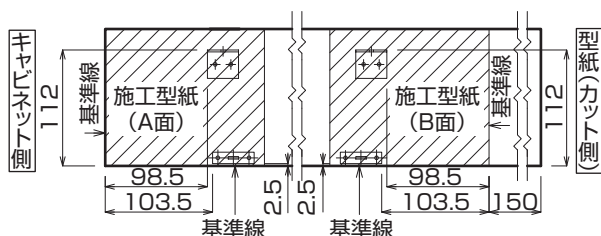
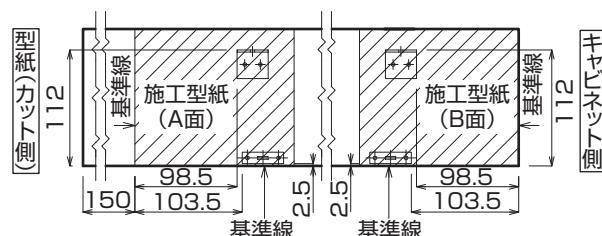
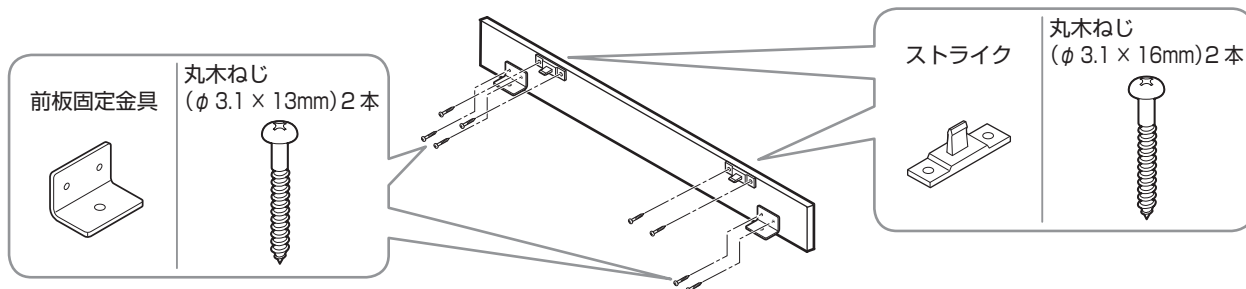
【右勝手の場合】

③ **ラッチをトラスタッピンねじ（φ3.5×16mm）で長穴に仮固定する。**
④ **傾きがないように位置調整する。**
⑤ **丸穴にトラスタッピンねじ（φ3.5×16mm）を固定し、長穴のねじを増し締めする。**
・金具に浮きがないようにしっかり増し締めしてください。

ご注意
・カウンターのおもて面に傷が
　付かないように注意してください。

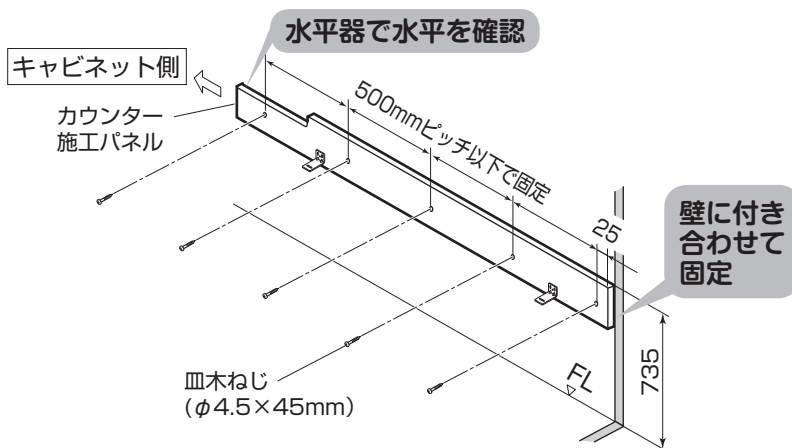
（寸法単位：mm）

幕前板

① **基準線に合わせて型紙を置く。**
② **穴中心位置をけがき、型紙を外す。**

ご注意
・幕前板のおもて面に傷が付かないように注意してください。

【左勝手の場合】

【右勝手の場合】

③ **前板取付金具を丸木ねじ（φ3.1×13mm）で固定する。**
④ **ストライクを丸木ねじ（φ3.1×16mm）で固定する。**
・金具に浮きがないようにしっかり増し締めしてください。

3. カウンター施工パネルの取り付け

① **カウンター施工パネルを取り付ける。**

⚠注意

必ず守る

- **壁面固定位置の壁面強度が十分あることを確認する 十分な強度がない場合は、12mm 以上の合板で補強する**
  転倒・落下によるけがの原因となります。
- **壁面の固定は必ず同梱の指定ねじ、指定金具を使用する**
  転倒・落下によるけがの原因となります。
- **カウンター施工パネルの固定ねじは、必ず 500mm 以下のピッチで固定する**
  カウンターが落下し、けがの原因となります。
- **ねじ頭が飛び出たままにならないように最後までしっかりとめる**
  配管を傷つけ、水漏れの原因となります。

（寸法単位：mm）

4. カウンターの取り付け

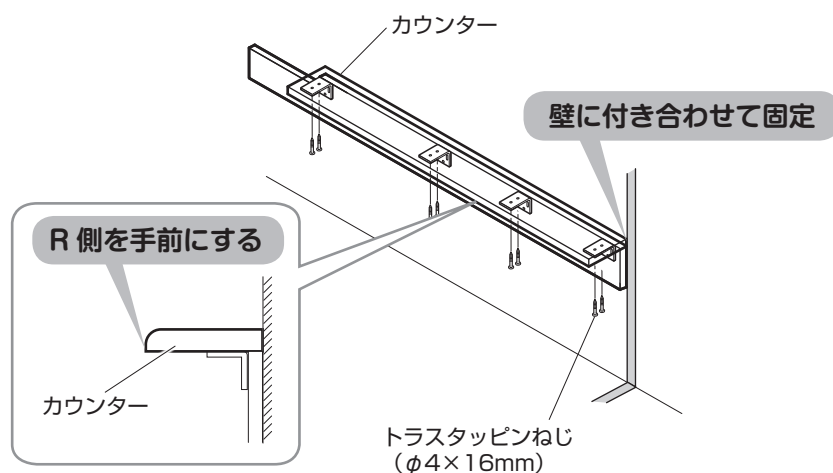
① **カウンター施工パネルにカウンター固定金具を仮固定する。**
・長穴にトラスタッピンねじ（φ4×45mm）で
　仮固定してください。

② **カウンター施工パネルと上面カウンター固定金具を
　面一にする。**

⚠注意

壁面の固定は必ず同梱の指定ねじ、指定金具を使用する
転倒・落下によるけがの原因となります。
必ず守る

③ **カウンター施工パネルにカウンター固定金具を本固定する。**
・長穴2か所をトラスタッピンねじ（φ4×45mm）で
　増し締めしてください。
・丸穴1か所をトラスタッピンねじ（φ4×45mm）で
　固定してください。

④ **カウンターを取り付ける。**
・カウンターの壁側の固定面の向きに注意して、カウンター施工パネルの端面に合わせてください。
・設置壁面とすき間のないようにトラスタッピンねじ（φ4×16mm）で固定してください。

3 キャビネットの組み立て

（寸法単位：mm）

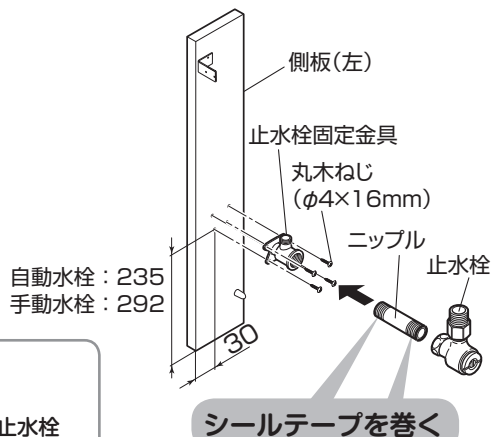
1. 止水栓の取り付け

① 側板の内側に止水栓固定金具を取り付ける。

・左勝手の場合：側板（左）
・右勝手の場合：側板（右）

② 止水栓、ニップルを止水栓固定金具に取り付ける。

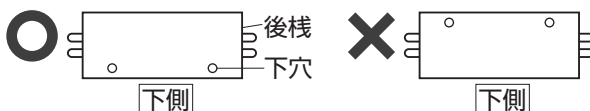
・止水栓にニップルを取り付けてから、止水栓固定金具を丸木ねじ（φ4×16mm）で固定してください。

側板(左)
止水栓固定金具
丸木ねじ（φ4×16mm）
ニップル
止水栓
自動水栓：235
手動水栓：292
30
シールテープを巻く

ご注意

- 側板のおもて面に傷が付かないように注意してください。
- 止水栓を取り付ける前に、給水管内のゴミ、砂などを完全に洗い流してください。
- 手洗い用の止水栓を取り付けてください。

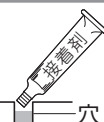
2. キャビネットの組み立て

① 側板の穴に接着剤を入れて、後桟を側板に取り付ける。

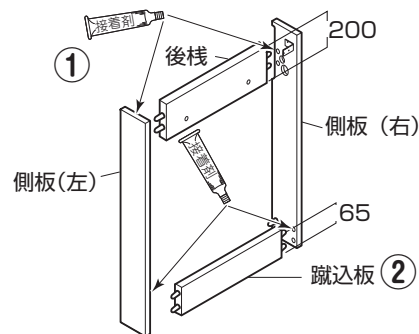
- 後桟は、下穴が下側になるように取り付けてください。

・側板と後桟および蹴込板の間にすき間ができないようにしっかりとはめ込んでください。

ご注意

- 接着剤は、穴の深さの1/2程度まで入れてください。
- はみ出した接着剤はきれいにふき取ってください。

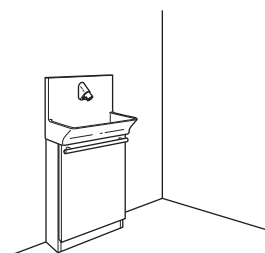
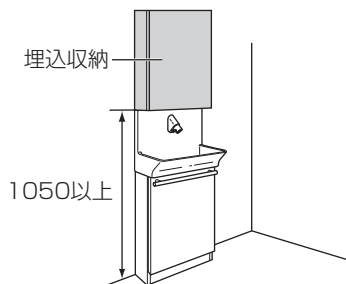
⚠注意

必ず守る

壁面の固定は必ず同梱の指定ねじ、指定金具を使用する

転倒・落下によるけがの原因となります。

4 手洗いの取り付け

（寸法単位：mm）

※埋込収納を併設する場合は取り付けかたが異なります。

埋込収納を併設しない場合

「1. キャビネットの取り付け」（P.14）へ

埋込収納を併設する場合

ご注意

- 施工前に埋込収納の下端が床面より1050mm以上であることを確認してください。

「1. 手洗い施工パネルの取り付け」（P.16）へ

※埋込収納を併設する場合は、「1. 手洗い施工パネルの取り付け」（P.16）に進んでください。

埋込収納を併設しない場合

1. キャビネットの取り付け

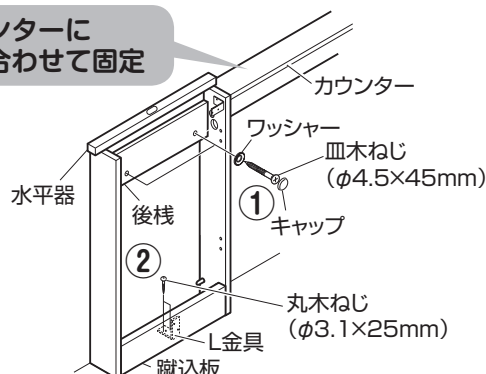
① **後桟を壁に固定する。**

・後桟を皿木ねじ（φ4.5×45mm）で壁に固定する。

② **蹴込板のL金具を床に丸木ねじ（φ3.1×25mm）で固定する。**

・水平器を使用し、キャビネット天面が水平となるように固定してください。

・床に不陸がある場合は、キャビネットが水平になるようにスペーサーなどで高さ調整してください。

・がたつきのないようにしっかりと固定してください。

2. 手洗い施工パネルの取り付け

① **手洗い施工パネルをおもて印字側を正面に、側板の上に置く。**

・キャビネット端から4mmあけて置いてください。

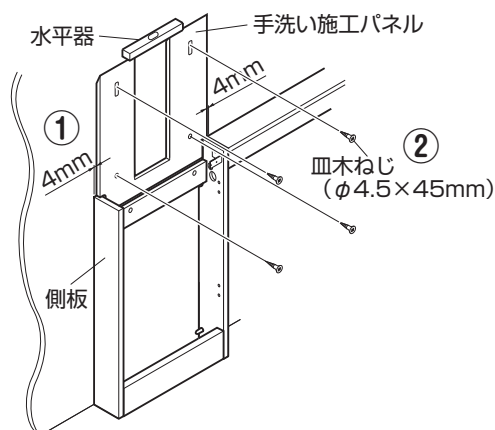
ご注意

• 手洗い施工パネルは、水平器などを使用して必ず水平に取り付けてください。
（傾いて取り付けると、手洗いボールの流れ勾配が無くなり、
手洗い時にボール内に水が残ることがあります。）

• 手洗い施工パネルの取り付け向きに注意してください。

② **手洗い施工パネルを壁に固定する。（4か所）**

・下穴に合わせて皿木ねじ（φ4.5×45mm）で固定してください。

注意

必ず守る

壁面の固定は必ず同梱の指定ねじ、指定金具を使用する

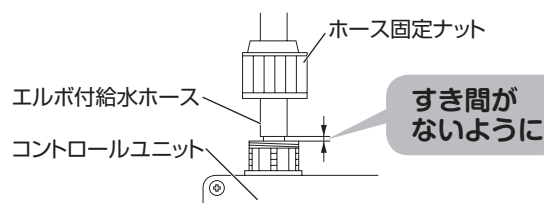
転倒・落下によるけがの原因となります。

※手動水栓の場合は、「4. 手洗いボールの取り付け」に進んでください。

3. 自動水栓の場合 コントロールユニットの接続

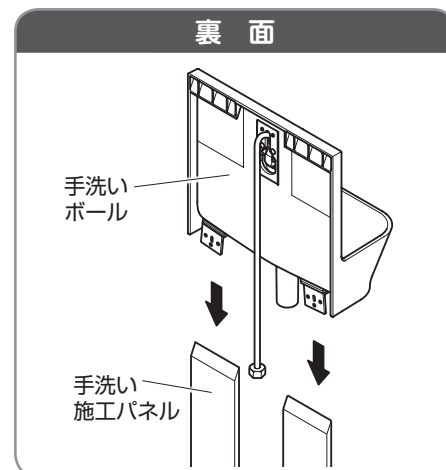
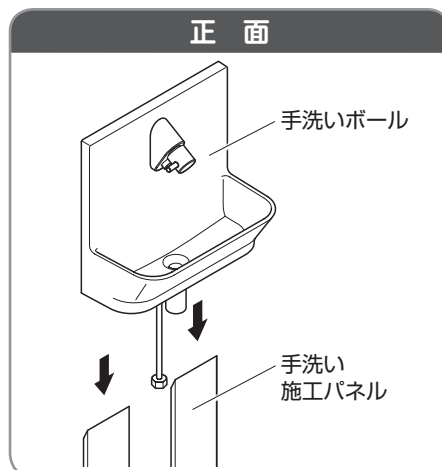
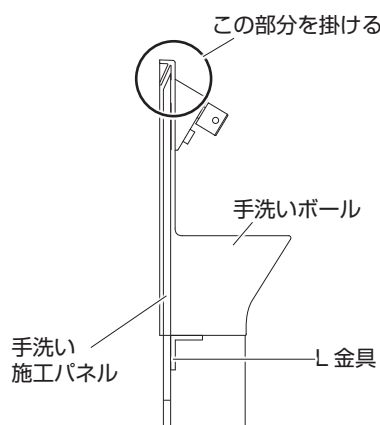
① **コントロールユニットからホース固定ナットを外し、エルボ付給水ホースに通す。**

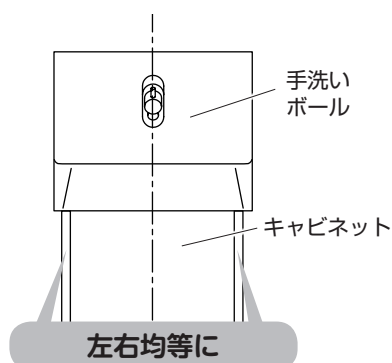
② **エルボ付給水ホースをコントロールユニットに差し込む。**

（寸法単位：mm）

③ **ホース固定ナットを コントロールユニット ねじ部に手で しっかりと締める。**

④ **エルボ付給水ホースと 給水管を接続する。**

4. 手洗いボールの取り付け

① **手洗いボールを施工パネル上部に引っ掛ける。**

② **手洗いボールの位置を調整する。**

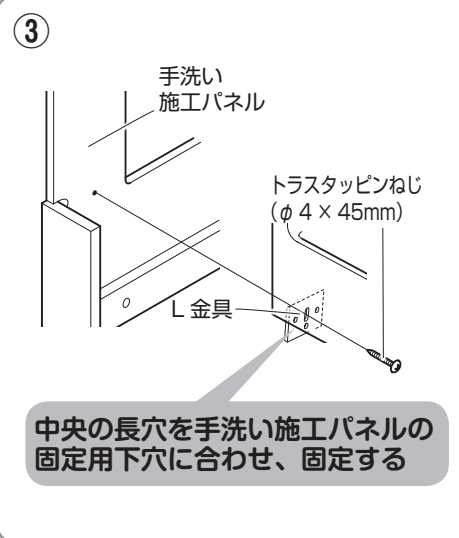
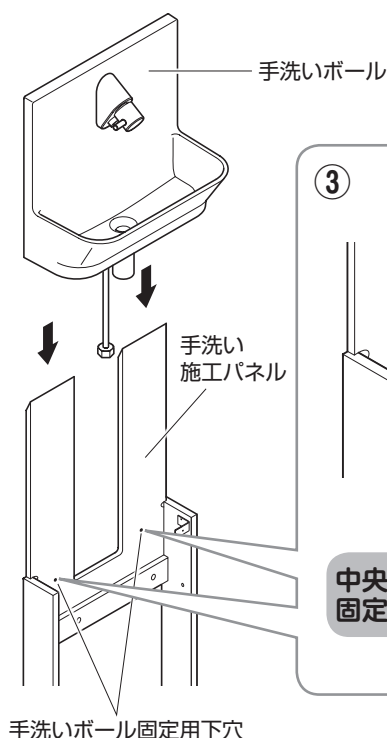
・手洗いボールとキャビネットの納まりを 左右均等にしてください。

③ **手洗いボールを手洗い施工パネルに固定する。**

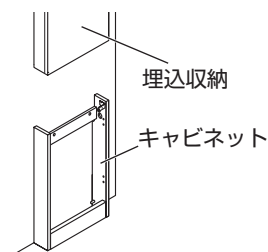
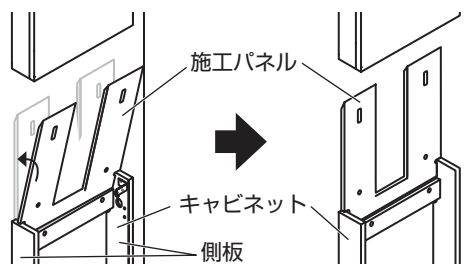
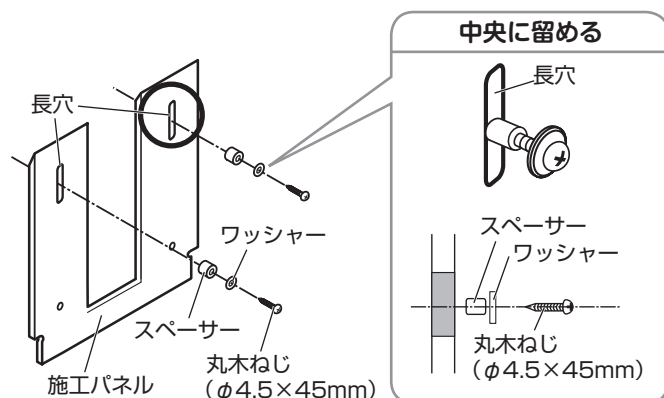
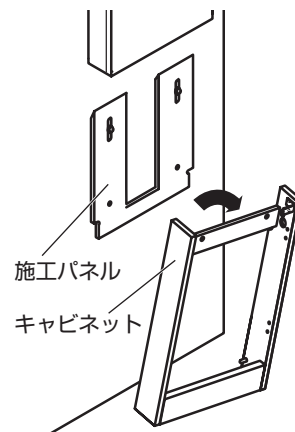
・手洗いボールと壁面、手洗いボールと キャビネットの間に、すき間ができない ようにしてください。

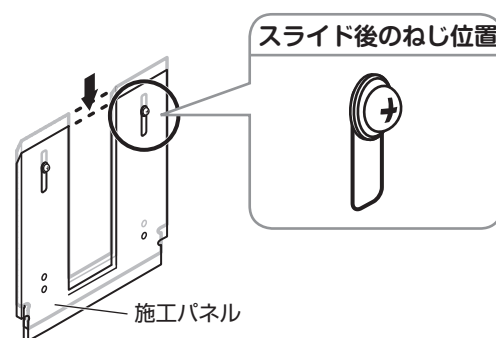
・手洗いボールにがたつきがないように トラスタッピンねじ（φ4×45mm）で 固定してください。

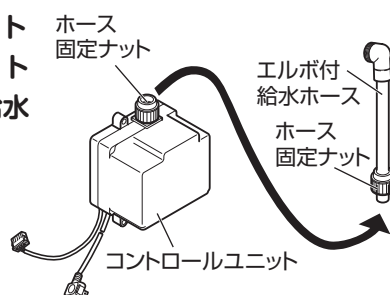
自動水栓の場合 「1. コントロールユニットの取り付け」（P.18）へ

手動水栓の場合 「2. 給水管の取り付け」（P.18）へ

埋込収納を併設する場合

1. 手洗い施工パネルの取り付け

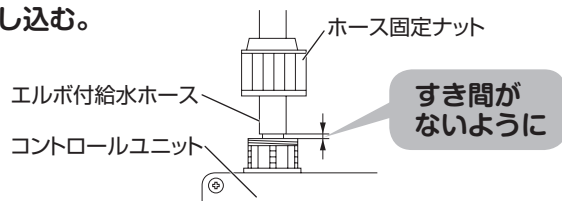
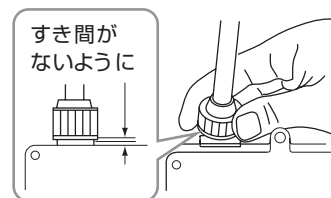
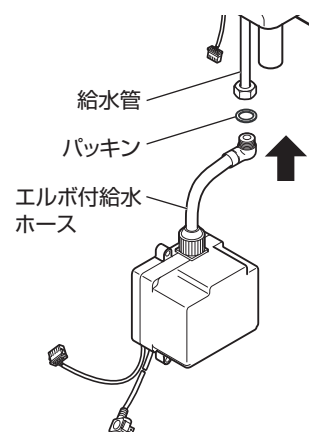
① **キャビネットを仮置きし、位置決めする。**

② **キャビネットの側板の上に施工パネルを置く。**

③ **施工パネルの長穴の中央に丸木ねじ（φ4.5×45mm）を留める。**

④ **キャビネットを外す。**

⑤ **施工パネルを下方向にスライドして下げる。**

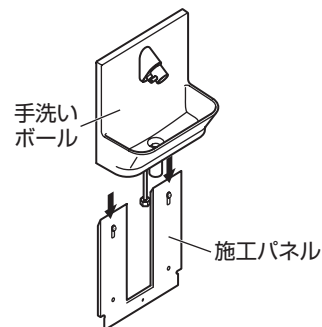
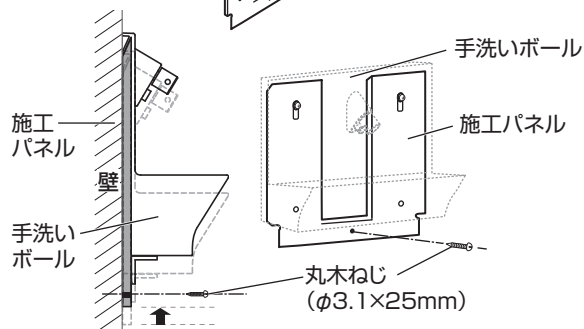
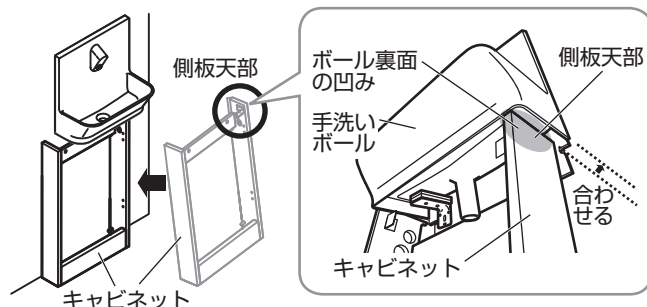
※固くて下がらない場合は、ねじを1/4 ～半回転緩めてください。

2. （自動水栓の場合）コントロールユニットの接続

① **コントロールユニットからホース固定ナットを外し、エルボ付給水ホースに通す。**

② **エルボ付給水ホースをコントロールユニットに差し込む。**

③ **ホース固定ナットをコントロールユニットねじ部に手でしっかりと締める。**

④ **エルボ付給水ホースと給水管を接続する。**

（寸法単位：mm）

3. 手洗いボールの取り付け

① 手洗いボールを施工パネル上部に引っ掛ける。

**② 施工パネルを上方にスライドさせて、
突きあたるところで、丸木ねじで壁に仮固定する。**

**③ キャビネットの側板天部をボール裏面の凹み部に
差し込んでキャビネットを壁面に据え置く。**

**④ 右にずらしながら、キャビネットの側板天部を手洗い
ボール、施工パネルの下に置く。**

**⑤ 丸木ねじを外し、手洗いボールとキャビネットを
位置合わせをする。**

⑥ 手洗いボールを施工パネルに固定する。

・手洗いボールとキャビネットの納まりを左右均等に
してください。

・手洗いボールと壁面、手洗いボールとキャビネットの間に、
すき間ができないようにしてください。

・手洗いボールにがたつきがないように
固定してください。

**⑦ キャビネットの後桟を壁に皿木ねじ（φ4.5 ×45mm）
で固定する。**

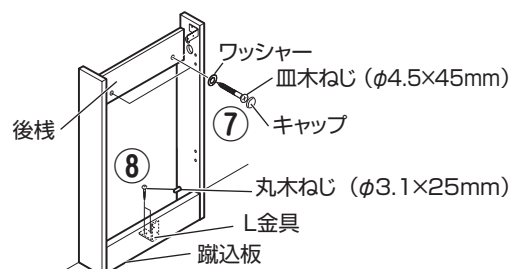
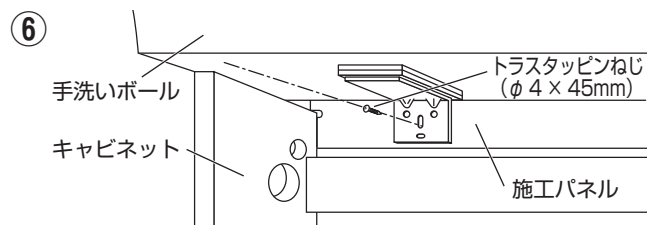
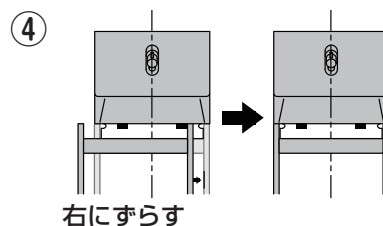
**⑧ 蹴込板のL 金具を床に丸木ねじ（φ 3.1 × 25mm）
で固定する。**

・水平器を使用し、キャビネット天面が水平となる
ように固定してください。

・床に不陸がある場合は、キャビネットが水平になるように
スペーサーなどで高さ調整してください。

・がたつきのないようにしっかりと固定してください。

**⑨ 手洗いボールと埋込収納の間にすき間がある場合は、
コーキングをする。**

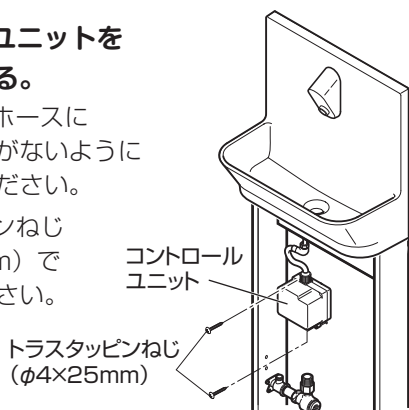
自動水栓の場合 「10. コントロールユニットの取り付け」（P.18）へ
手動水栓の場合 「11. 給水管の取り付け」（P.18）へ

5 給排水管の取り付け

※手動水栓の場合は、「2. 給水管の取り付け」に進んでください。

1. 自動水栓の場合 コントロールユニットの取り付け

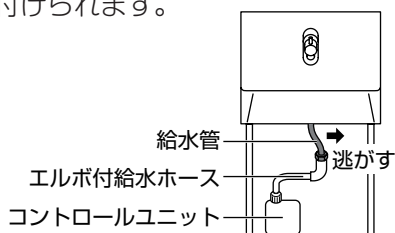
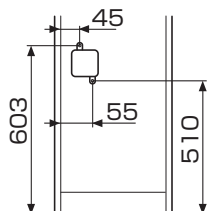
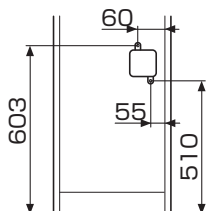
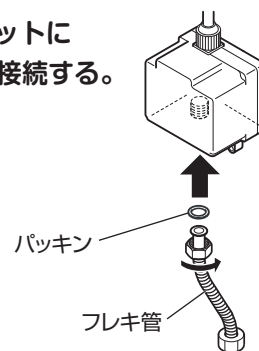
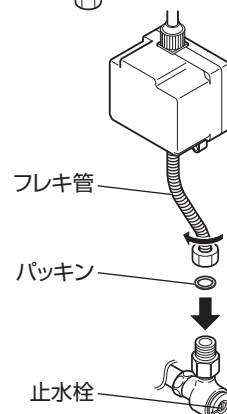
① **コントロールユニットを壁に取り付ける。**

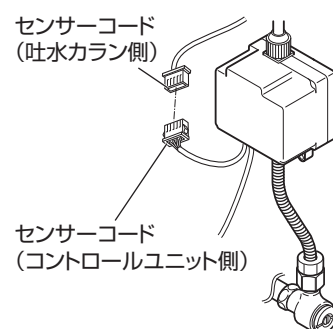
・エルボ付給水ホースに折れやねじれがないように取り付けてください。

・トラスタッピンねじ（φ4×25mm）で固定してください。

ポイント

・コントロールユニットの取付位置とは反対側に給水管を逃がすと給水ホースが正しく取り付けられます。

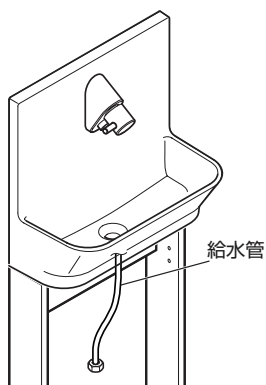
【左勝手の場合】 【右勝手の場合】

45 55 603 510
60 55 603 510

② **コントロールユニットにフレキ管の上端を接続する。**

③ **フレキ管の下端を止水栓に接続する。**

④ **センサーコードを接続する。**

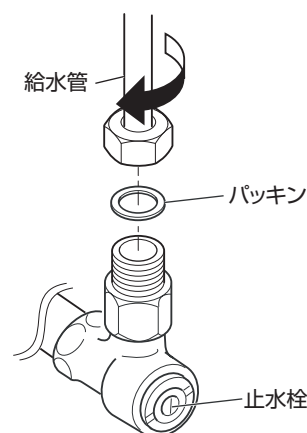
・吐水カランとコントロールユニットのセンサーコードを接続してください。

「3. キャビネット内配管の取り付け」（P.19）へ

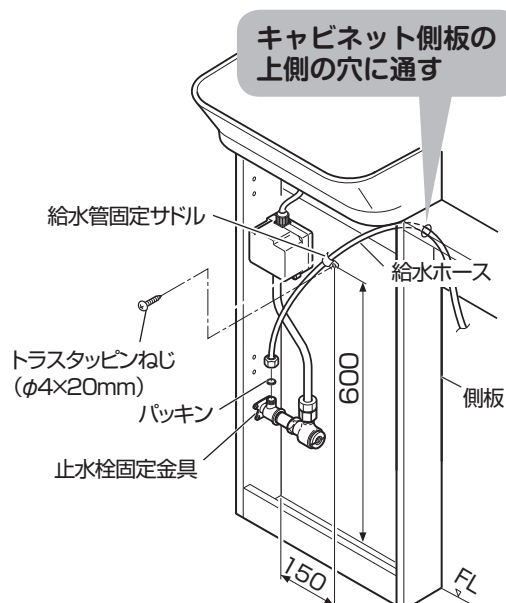
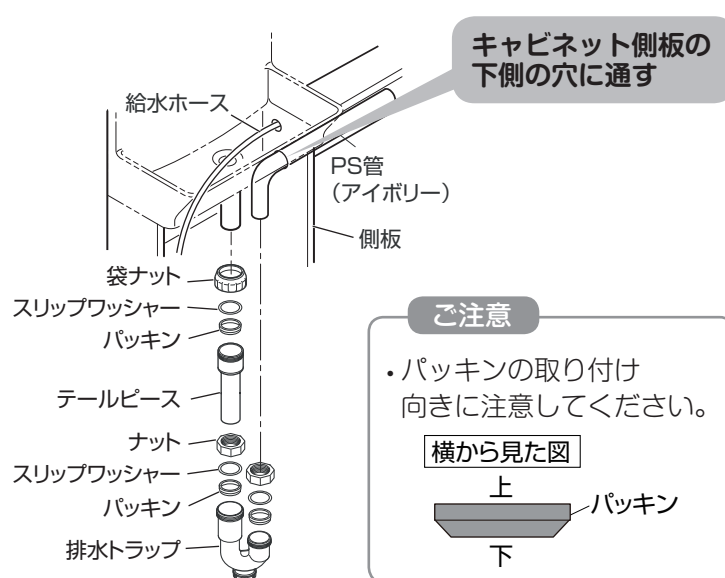
2. 手動水栓の場合 給水管の取り付け

① **給水管を曲げる。**

・水路が狭くならないようにしてください。

② **給水管を取り付ける。**

「3. キャビネット内配管の取り付け」（P.19）へ

（寸法単位：mm）

3. キャビネット内配管の取り付け

① **給水ホースを止水栓固定金具に接続する。**
・トラスタッピンねじ（φ4×20mm）で固定してください。

② **排水管を取り付ける。**
・排水管はしっかりと接続してください。
接続が緩いと水漏れの原因となります。

4. カウンター内配管の取り付け

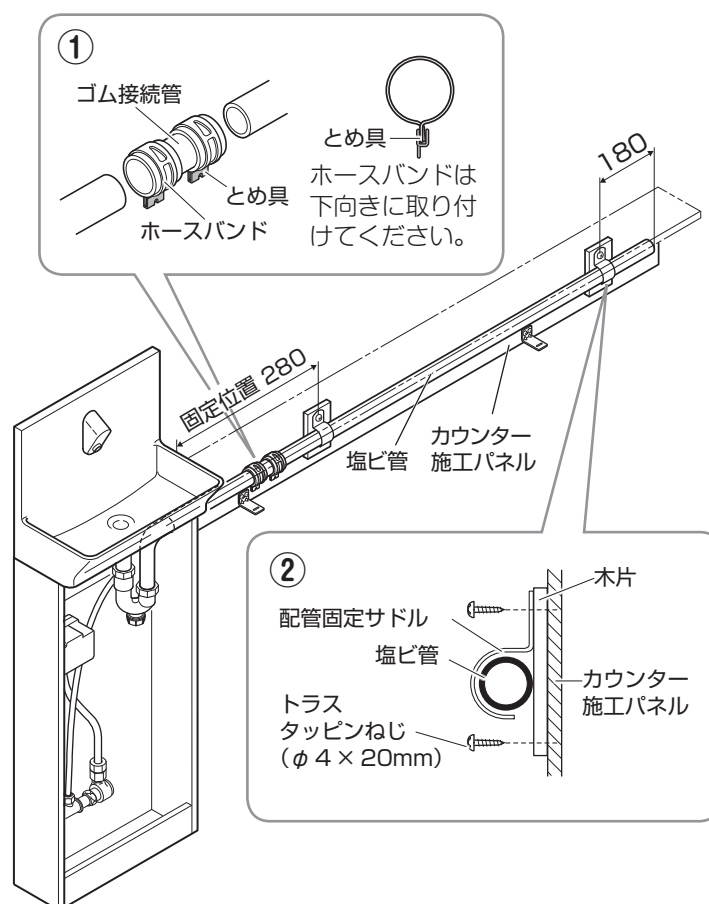
① **塩ビ管を接続する。**
・現場寸法に合わせて塩ビ管をカットしてください。

> カット寸法：
> 設置奥行き寸法（Ⓐ寸法）−630mm

・接続部をゴム接続管とホースバンドで接続し、ホースバンドのとめ具を取り外して、排水管とホースバンドをしっかり接続してください。

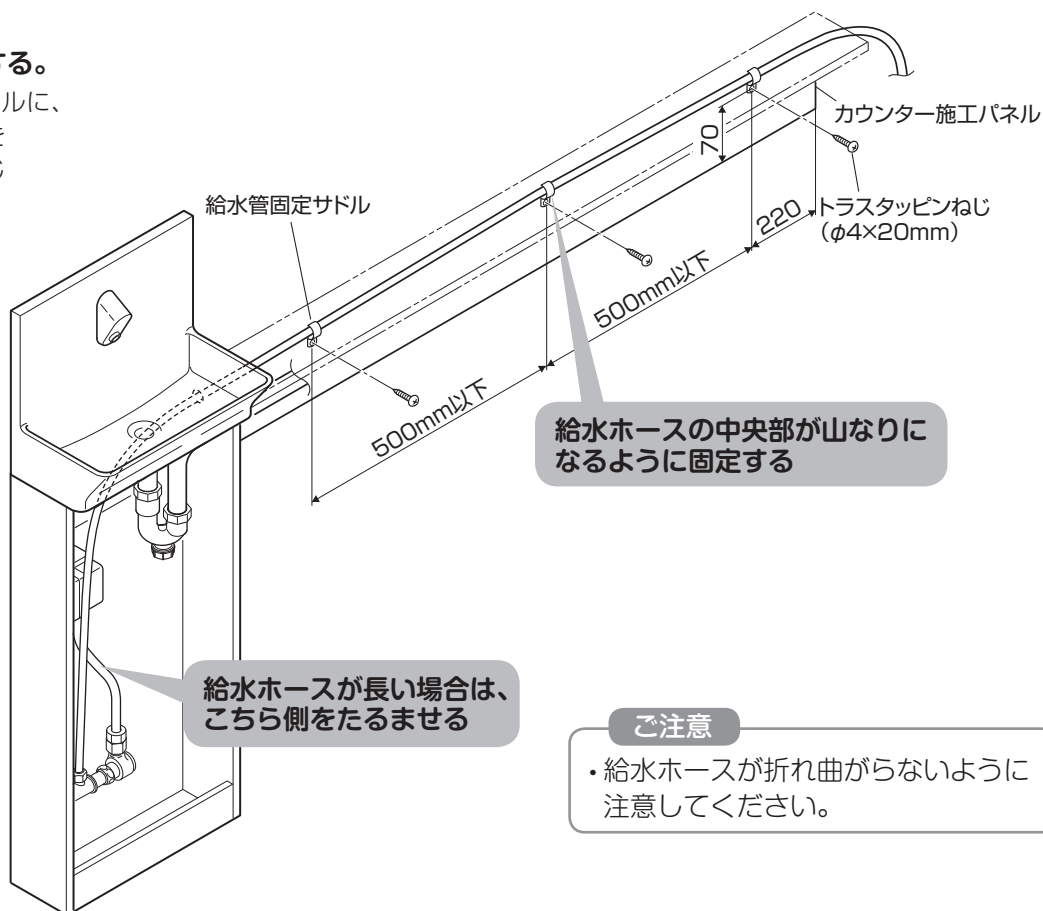
※Ⓐ寸法…P.9参照

② **塩ビ管を固定する。**
・カウンター施工パネルに、配管固定サドル、木片で固定してください。
・トラスタッピンねじ（φ4×20mm）で固定してください。

> **ご注意**
> •流出方向に1/100の流れ勾配を確保してください。

③ **給水ホースを固定する。**

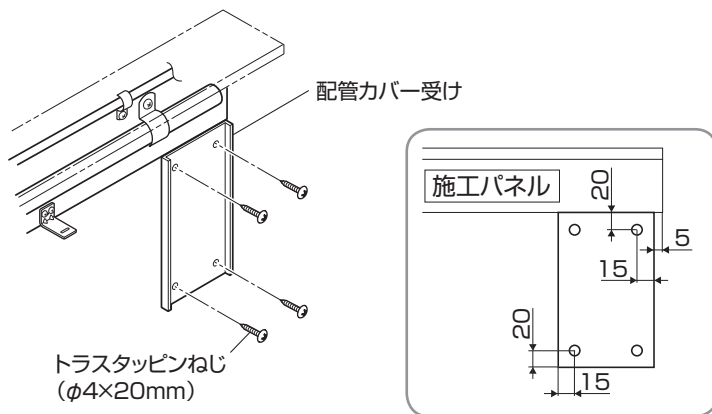
・カウンター施工パネルに、給水管固定サドルをトラスタッピンねじ（φ4×20mm）で固定してください。

ご注意

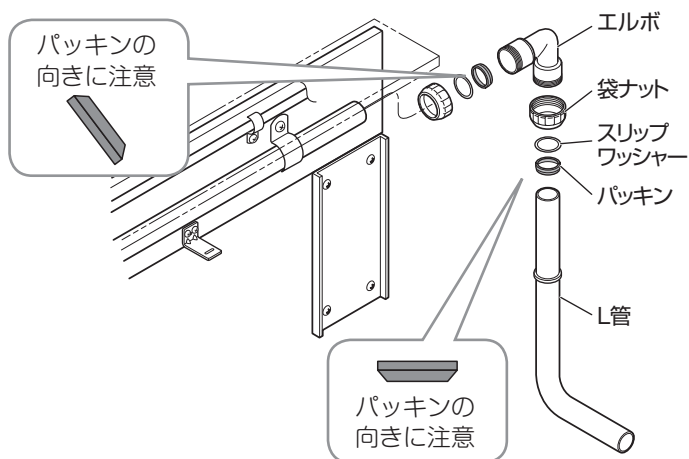
• 給水ホースが折れ曲がらないように注意してください。

5. 配管カバー受けの取り付け

① **配管カバー受けを壁に取り付ける。**

・カウンター施工パネルの下端に突き当てて、トラスタッピンねじ（φ4×20mm）で固定してください。

・壁面に不陸や凹凸がある場合は、平面が出るようにスペーサーなどで高さ調整してください。

6. 排水管の取り付け

① **排水管を接続する。**

（寸法単位：mm）

7. 手洗い排水管の取り付け

便器のタイプによって、排水管セットの取り付けかたが異なります。

アラウーノ　床排水タイプ………P.21
アラウーノ　壁排水タイプ………P.22 ～ 23
アラウーノ S・アラウーノ V　…P.24 ～ 25

アラウーノ　床排水タイプと接続する場合

① 床フランジまたは排水アジャスタにPS管(アイボリー)を接続し、施工位置に仮置きする。

ご注意

- 排水位置に注意してください。
- PS管（アイボリー）を最後まで差し込み、袋ナットをしっかり締めてください。
- 排水アジャスタを取り付ける場合は、施工位置は通常より40mm前になります。

	排水位置
床フランジ (CH120T)	200
排水アジャスタ (CH120R)	325 ～ 460

② 排水管を仮接続する。

③ 間口寸法に合わせて、ねじ付ストレート管(ホワイト)をカットする。

・排水管接続部の差し込みしろを十分確保した長さでカットしてください。

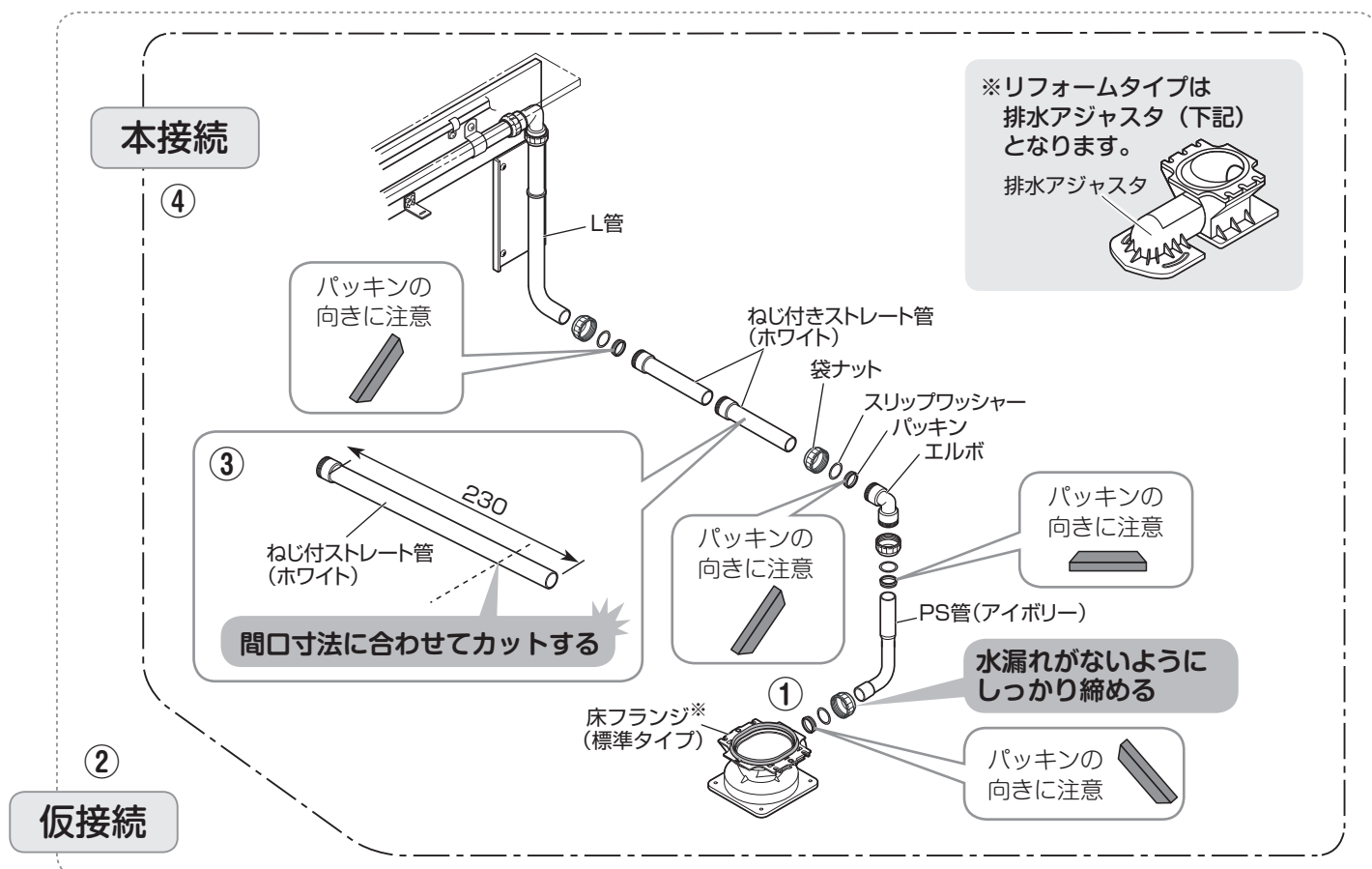
・間口寸法が1000mm以上の場合、オプション部材（品番：CH110T08ST）を、別途手配してください。

④ 排水管の接続部をしっかりと締め付けて本接続する。

・逆勾配にならないように注意してください。

⑤ 床フランジまたは排水アジャスタを床に固定する。

・便器の施工説明書にしたがって固定する。

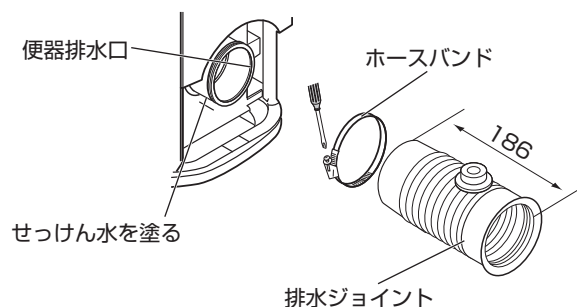
・床フランジの場合 ………… 別冊 P.14 3 4、P.15 5 6
・排水アジャスタの場合 …… 別冊 P.18 4、P.19 5 6、P.20 7 8

「8. 配管カバーの取り付け」（P.26）へ

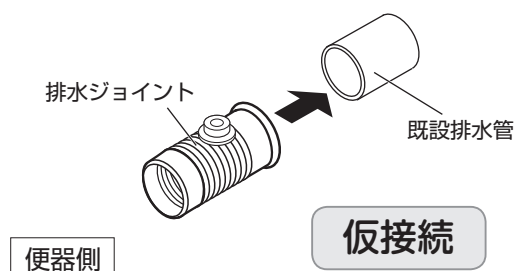
※便器は「8. 配管カバーの取り付け」の後に取り付けてください。

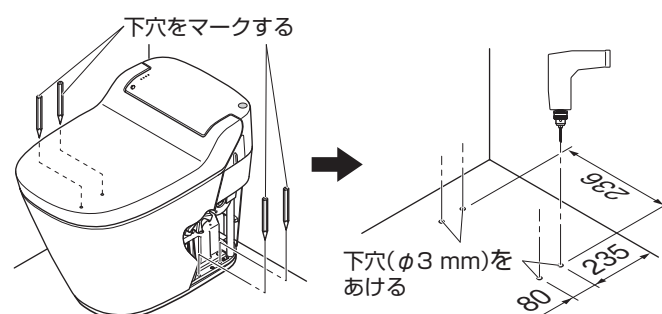
アラウーノ　壁排水タイプと接続する場合

① 便器排水口に排水ジョイントを接続する。

・あらかじめ差込部にせっけん水を塗っておくと、差し込みが容易です。

・接続部は、マイナスドライバーなどを使用して、ホースバンドで固定してください。

② 既設排水管に排水ジョイントを仮接続する。

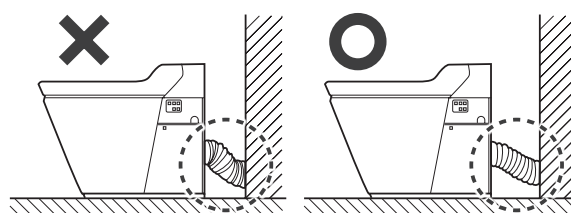
・排水ジョイントは、排水管カット後に取り外しますので、接着しないでください。

③ 便器取り付け穴（4か所）に下穴（φ3mm）をあける。

・固定位置は排水ジョイントがしわにならない位置にしてください。

注意

必ず守る

排水ジョイントにしわができないようにホースバンドを締めつける

水漏れの原因となります。

（寸法単位：mm）

④ 排水管を仮接続する。

⑤ L管をカットする。

・排水管の勾配を1/100以上確保できるようにL管をカットして高さ調整してください。

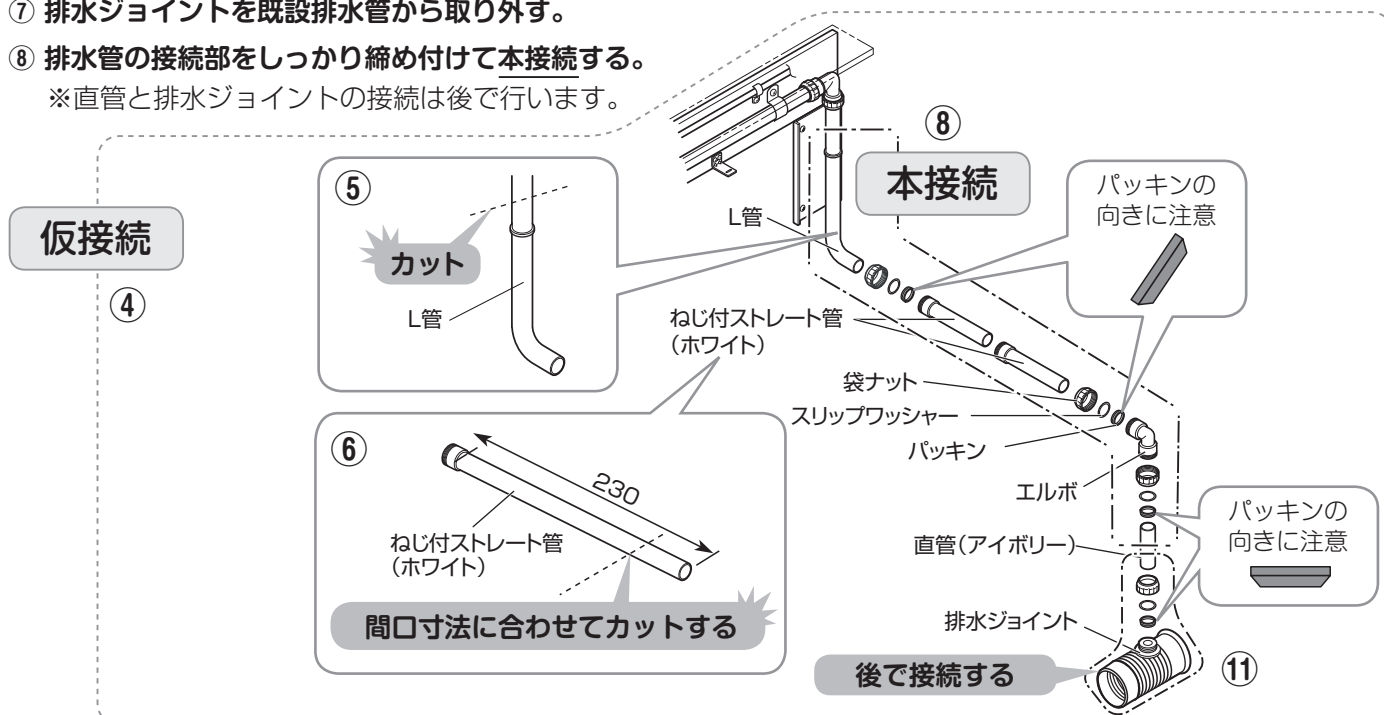
⑥ 間口寸法に合わせてねじ付ストレート管(ホワイト)をカットする。

・排水管接続部の差し込みしろを十分確保した長さでカットしてください。

・間口寸法が1000mm以上の場合、オプション部材（品番：CH110T08ST）を、別途手配してください。

⑦ 排水ジョイントを既設排水管から取り外す。

⑧ 排水管の接続部をしっかり締め付けて本接続する。

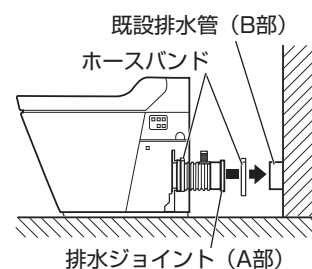
※直管と排水ジョイントの接続は後で行います。

⑨ 先にP.26の「6.配管カバーの取り付け」を行う。

⑩ 排水ジョイントを既設排水管に接続する。

・排水ジョイントの差込部（A部）内周と既設排水管の差込部外周（B部）に塩ビ用接着剤を塗布してください。

・排水ジョイントは十分に差し込んでください。

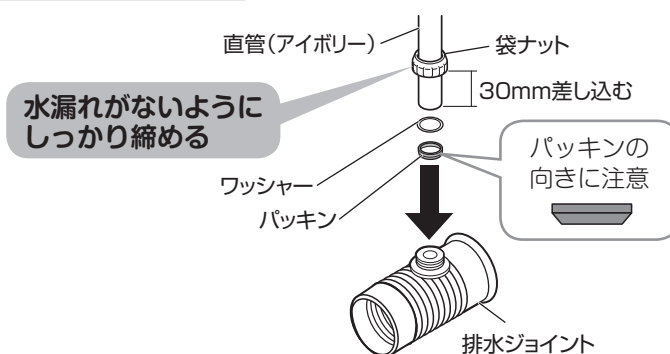
・接続部は、マイナスドライバーなどを使用して、ホースバンドで固定してください。

・排水ジョイントにしわができないように締めつけてください。

ご注意

・既設排水管と便器との接続は、排水ジョイントが逆勾配にならないように注意する。器具の洗浄性能が低下したり、汚水が機器のトラップ内に逆流する原因となります。

⑪ 排水ジョイントに直管を本接続する。

・袋ナットをしっかり締めて接続してください。

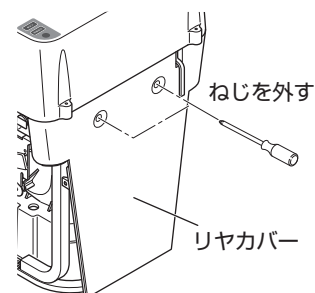
「6. 便器の取り付け」（P.27）へ

アラウーノS・アラウーノVと接続する場合

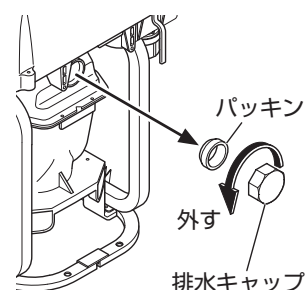
ご注意

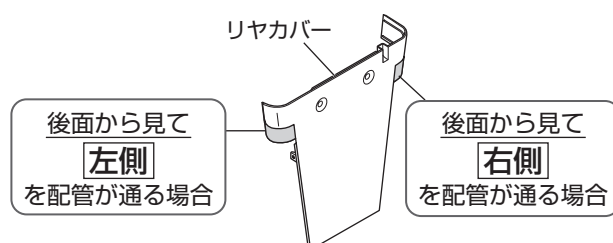
便器を先に取り付けると排水管が接続できなくなります。必ず、先に排水管を便器に接続してください。

※図はアラウーノＳの場合です。

**① ねじを外し、
リヤカバーを取り外す。**

ねじを外す
リヤカバー

② 排水キャップを取り外す。

・取り外した排水キャップとパッキンは使用しません。

③リヤカバーを加工する。

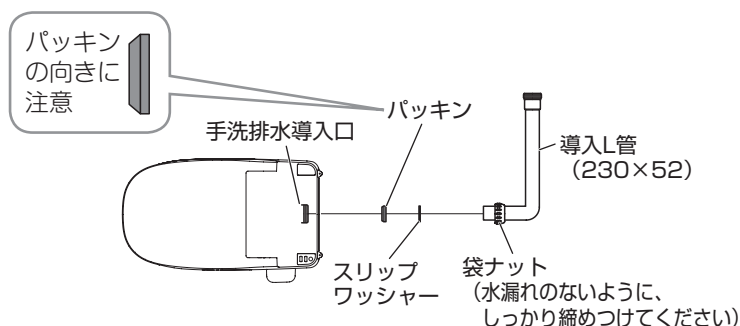
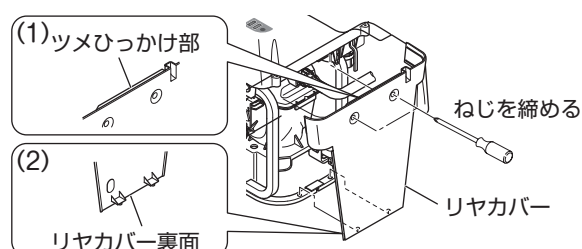
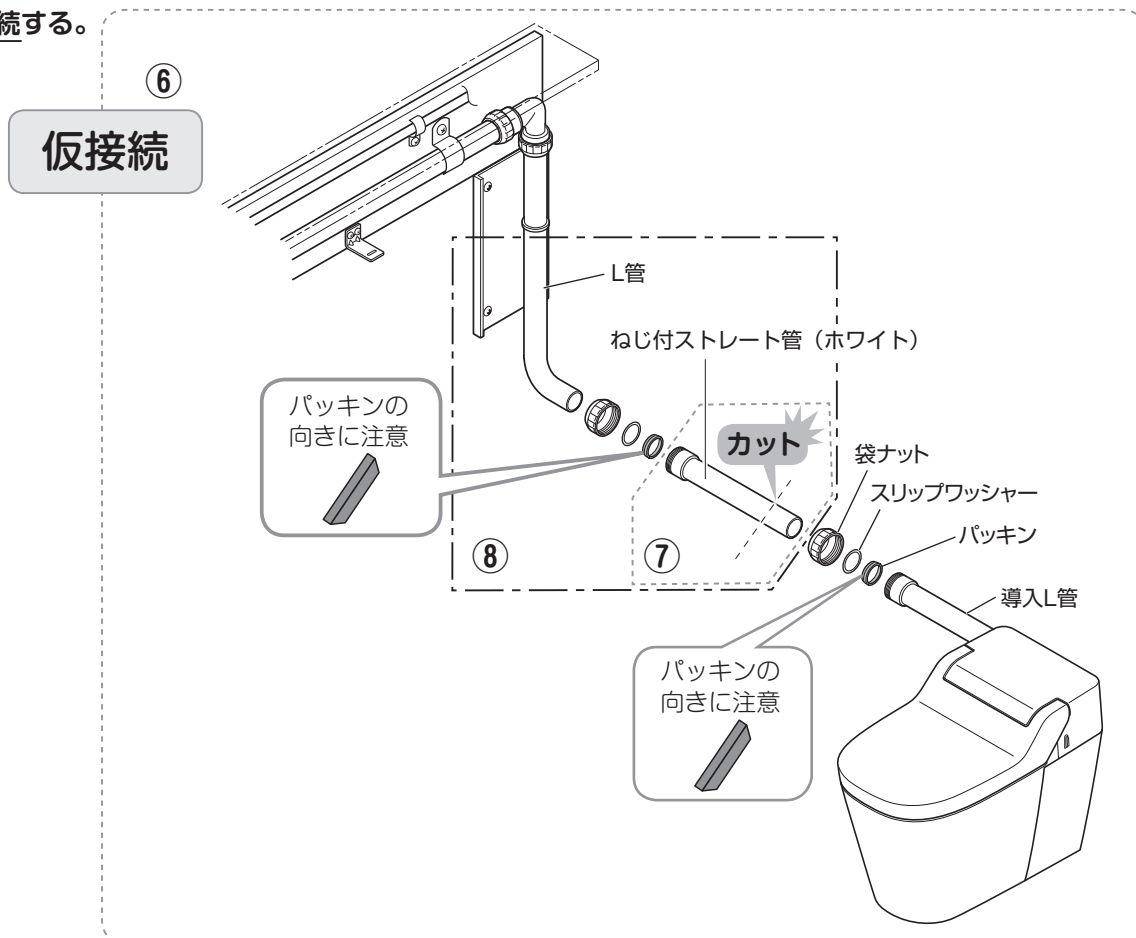
・塩ビのこなどでカットしてください。
　カット後、切断部のバリを取り除いてください。

④ 手洗い側の排水管を取り付ける。

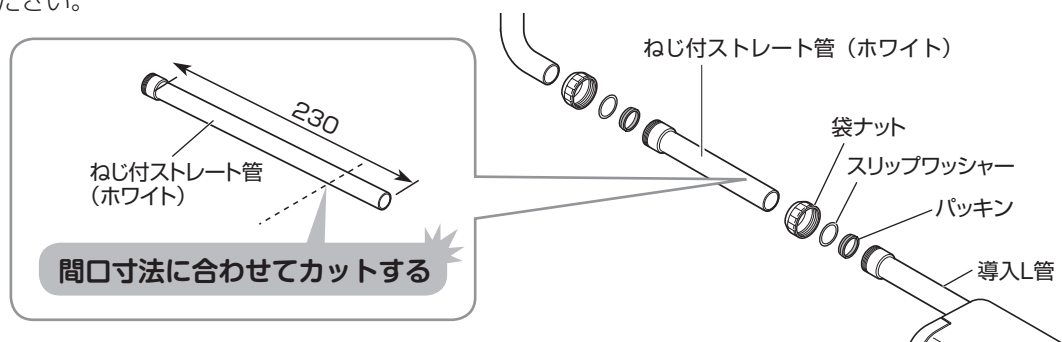
・袋ナットをしっかり締めてください。

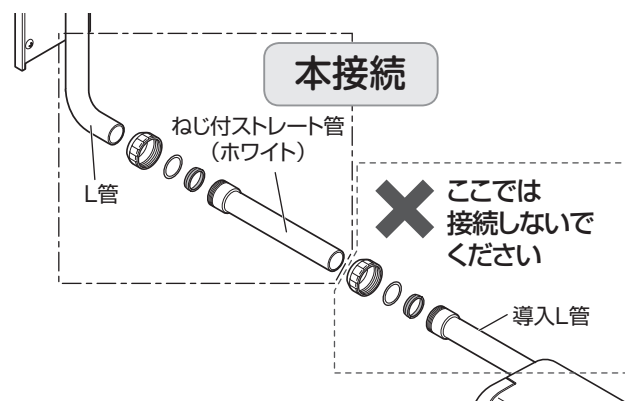
⑤リヤカバーを取り付ける。

（寸法単位：mm）

⑥ **排水管を仮接続する。**

⑥
仮接続
L管
ねじ付ストレート管（ホワイト）
パッキンの
向きに注意
カット
袋ナット
スリップワッシャー
パッキン
⑧
⑦
導入L管
パッキンの
向きに注意

⑦ **間口寸法に合わせてねじ付ストレート管（ホワイト）をカットする。**

- 排水管接続部の差し込みしろを十分確保した長さでカットしてください。
- 間口寸法が1000mm以上の場合、オプション部材（品番：CH110T08ST）を、別途手配してください。

⑧ **L管とねじ付ストレート管（ホワイト）を しっかりと締め付けて本接続する。**

- 袋ナットをしっかり締めて接続してください。
- ねじ付ストレート管と導入L管はここでは接続しないでください。
  先に取り付けると配管カバーが取り付けにくくなります。

「8. 配管カバーの取り付け」（P.26）へ

※便器は「8. 配管カバーの取り付け」の後に取り付けてください。

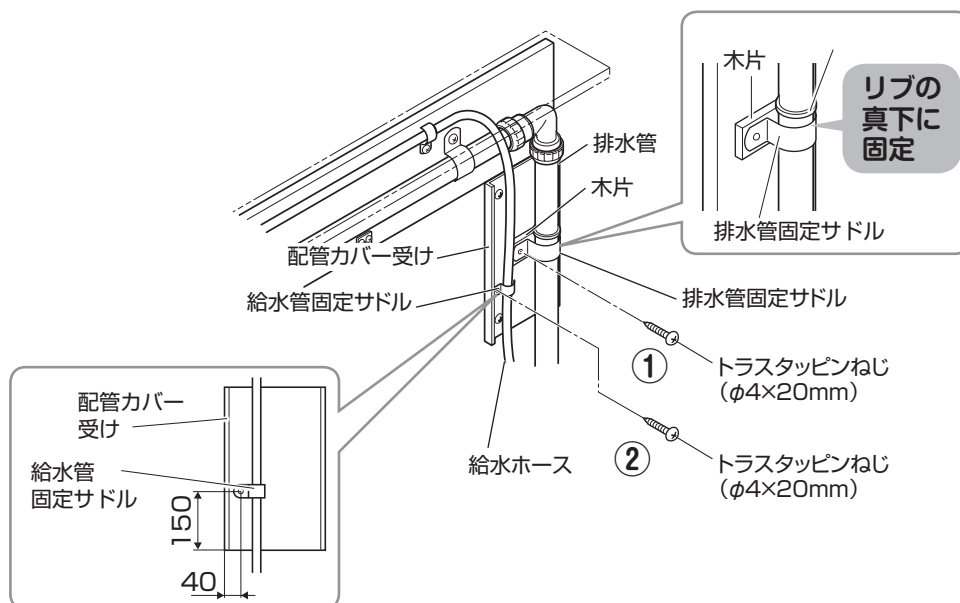
8. 配管カバーの取り付け

① 排水管を配管カバー受けに固定する。

・排水管固定サドル・木片で固定してください。

・リブの真下にトラスタッピンねじ（φ4×20mm）で固定してください。

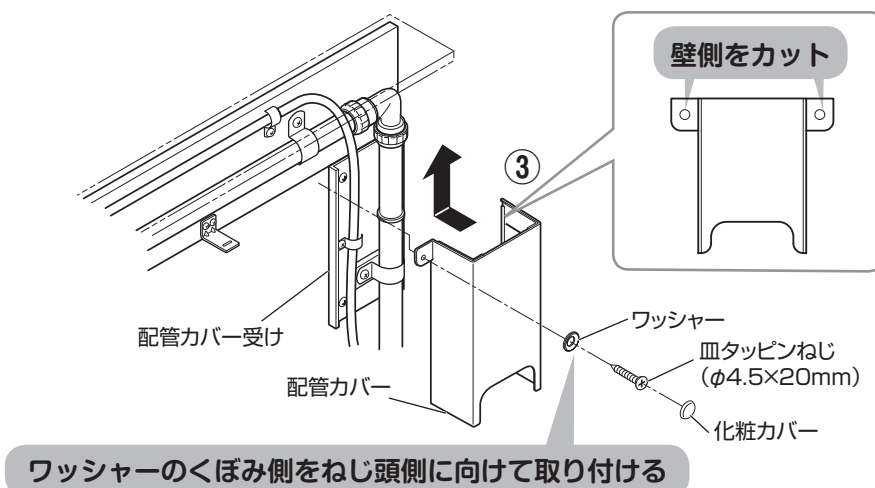
② 給水ホースを配管カバー受けに固定する。

・給水管固定サドル・トラスタッピンねじ（φ4×20mm）で固定してください。

③配管カバーを取り付ける。

・現場の施工状態に合わせて、ねじ取り付け部の壁側を「塩ビのこ」などでカットしてください。
（左勝手の場合は、右側をカットしてください。）

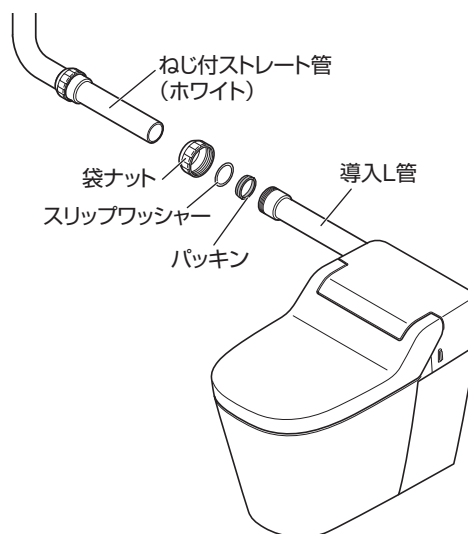
・配管カバーを配管カバー受けに押し込み、上にスライドさせてください。

・皿タッピンねじ（φ4.5×20mm）で固定してください。

（寸法単位：mm）

9. （アラウーノS・Vの場合）ねじ付ストレート管と導入L管の接続

① ねじ付ストレート管（ホワイト）と導入L管をしっかりと締め付けて本接続する。

・逆勾配にならないように注意してください。

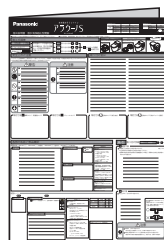
・袋ナットをしっかり締めて接続してください。

※図はアラウーノSの場合です。

6 便器の取り付け

※それぞれの便器の施工説明書にしたがって便器を取り付けてください。

アラウーノ

	標準	リフォーム
床排水	P.16 8	P.21 10
壁排水	P.13 4	

アラウーノS

	標準、高層階	リフォーム
床排水	P.2 A-1 5	P.2 B-1 7
壁排水	P.3 C-1 3 ❸❹	

アラウーノV

	標準	リフォーム
床排水	P. 18 手順5	P. 24 手順7

	後ろ抜き
壁排水	P. 13 手順4 P. 14 手順5

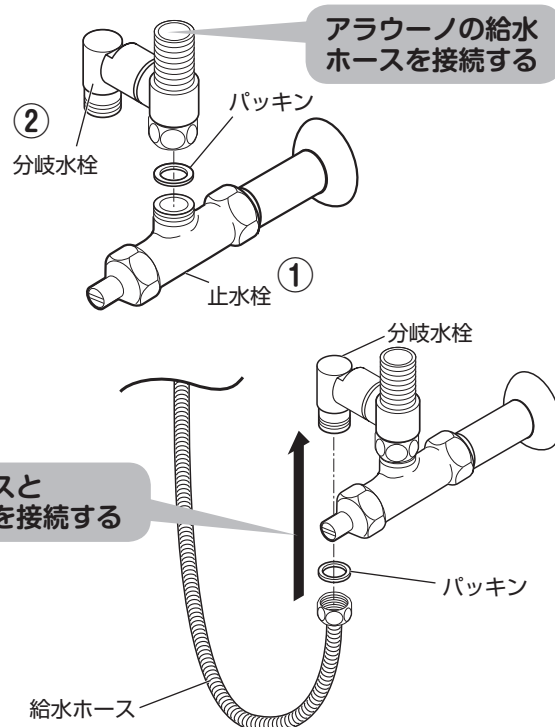
それぞれの便器の施工説明書にしたがって「便器の取り付け」以降の作業を行ってください。

7 便器側止水栓・分岐水栓の接続

（寸法単位：mm）

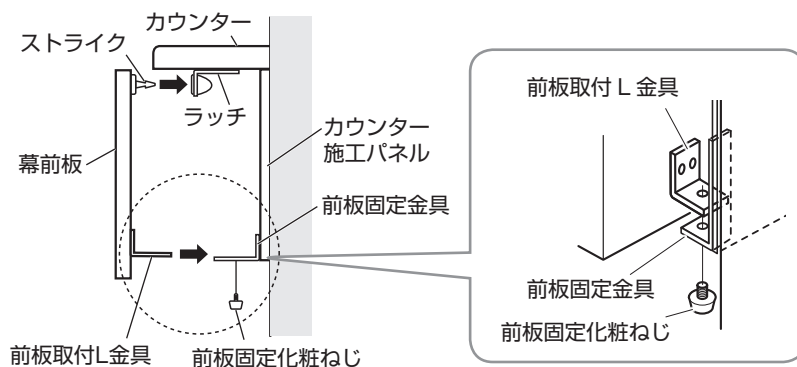
① **止水栓を取り付ける。**
- 必ず便器用の止水栓を取り付けてください。
  異なる止水栓を取り付けると、便器洗浄の水量が減るなどの問題が生じるおそれがあります。
- 手洗い用の止水栓（定流量弁付）は便器に使用しないでください。便器洗浄水量などが不足し、洗浄不良となります。

② **分岐水栓を取り付ける。**

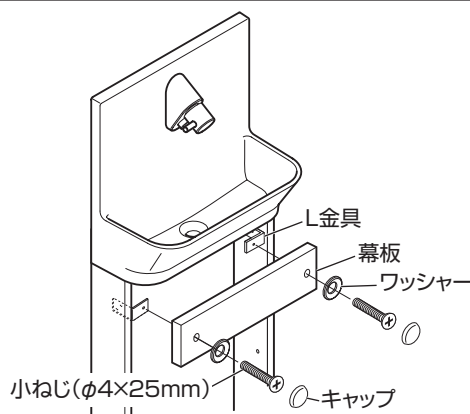
③ **給水ホースを接続する。**
- 分岐水栓に接続してください。
- 給水ホースが短い場合は、オプションの給水ホース（品番：CH110RT08）を、別途手配してください。

8 幕板・扉の取り付け

（寸法単位：mm）

1. 幕前板の取り付け

① **幕前板をカウンターに取り付ける。**
- 「カチッ」と音が鳴るまでラッチにストライクを差し込んでください。
- 前板固定化粧ねじで、前板取付L金具と前板固定金具を固定してください。

2. キャビネット幕板の取り付け

① **幕板をキャビネット側板のL金具に取り付ける。**
- 幕板を、ワッシャーを挿入した小ねじ（φ4×25mm）でがたつきのないように取り付けてください。
- 取り付け後、小ねじにキャップを取り付けてください。

（寸法単位：mm）

3. 扉（別売）の組み立てと取り付け

扉の開閉方向を決めてから、取っ手を取り付けてください。

ご注意
- 扉を開けたときに扉や取っ手が壁に当たらないことを確認の上、吊元を決めてください。

① **扉に取っ手用下穴を貫通させる。**
- ・左吊元と右吊元で取っ手の取り付け位置が異なります。
- ・下穴を貫通させる時は、扉おもて面に当て木し、バリ発生を防いでください。

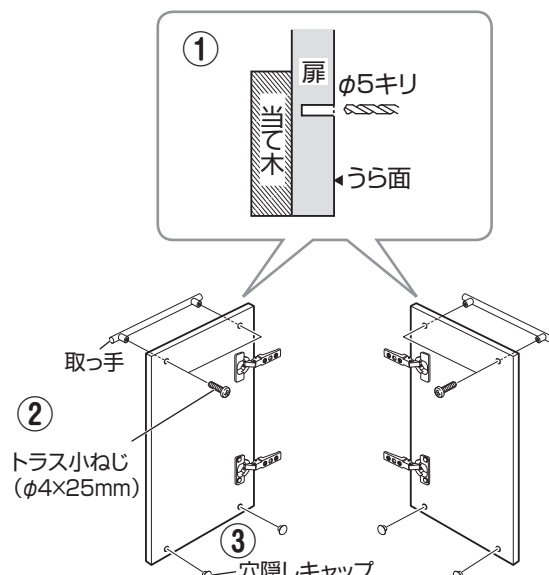
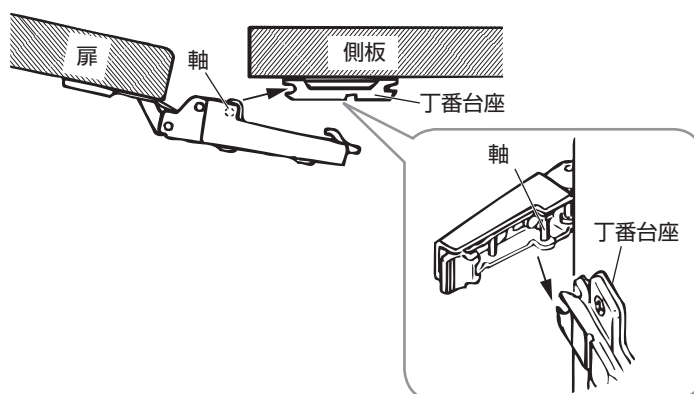
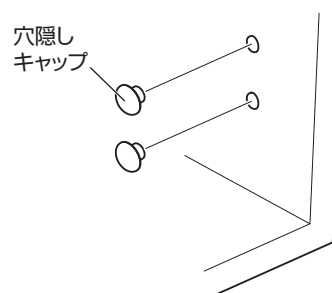
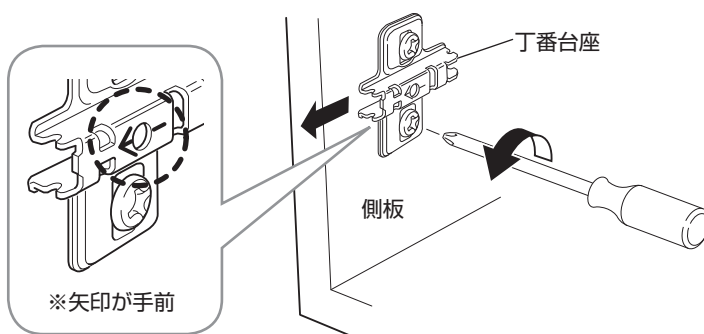
② **取っ手を扉に取り付ける。**
- ・トラス小ねじ（φ4×25mm）で固定してください。

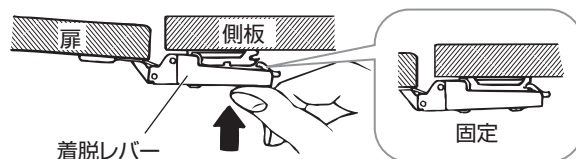
③ **扉の不要の穴に付属の穴隠しキャップを取り付ける。**

④ **扉の吊り元側のキャビネット側板の穴に丁番台座を取り付ける。**

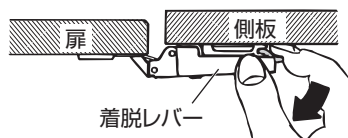
⑤ **丁番台座を取り付けなかった側のキャビネット側板にある穴に、付属の穴隠しキャップを取り付ける。**

⑥ **キャビネット側板の丁番台座に、扉側の軸を差し込む。**

（寸法単位：mm）

⑦ 着脱レバーを押さえる。

・「ガチッ」と鳴るまで押さえてください。

⑧ 扉を持って2～3回開閉し、丁番が確実に固定されているか確認する。

ご注意

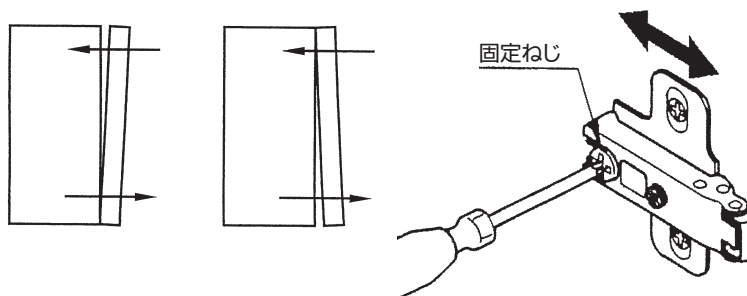
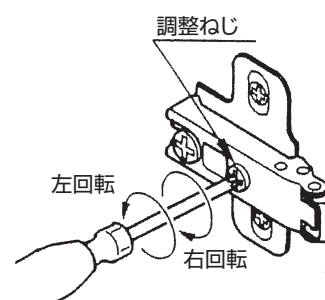
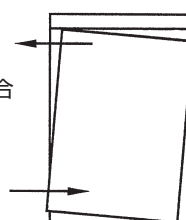
- 丁番、丁番台座はできるだけ外さないようにしてください。
- 扉を取り外す際は、着脱レバーをつまんで外してください。

- 丁番台座を取り外す際は、側板の穴を傷つけないようにゆっくり外してください。

4. 扉の調整

ご注意

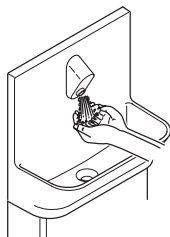
- 扉の段違いなどがある場合、正しい位置に調整し、固定ねじに緩みがないかを必ず確認してください。

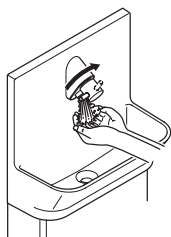
① 丁番台座の固定ねじを緩め、前後調整する。

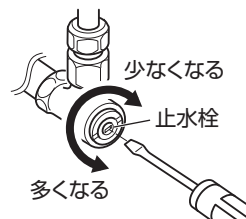
・調整後は、再度ねじを締めてください。

② 丁番台座の調整ねじを回して、左右の傾きを調整する。

9 確認と点検

1. 水の出の確認

（自動水栓の場合）

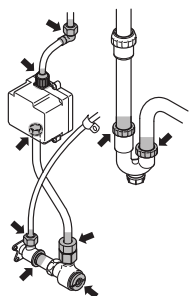
手洗いボールの中に手を入れ、水が出ることを確認する。

（手動水栓の場合）

つまみを回し、水が出ることを確認する。

ご注意

・手洗いボールから水跳ねする場合は、止水栓で流量を調節してください。

2. 水漏れの確認

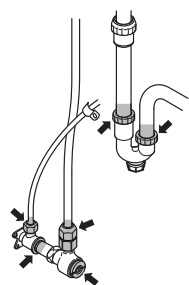
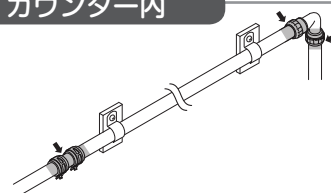
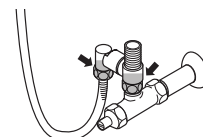
① **配管接続部を増し締めする。**

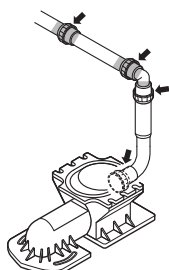
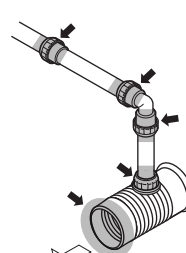
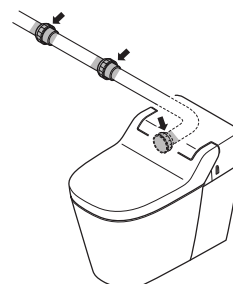
・緩んでいると、水漏れ拡大損害の原因となります。

② **水漏れが無いか確認する。**

カウンター内

キャビネット内

（自動水栓の場合）

（手動水栓の場合）

止水栓

排水管

<GHA100R> <GHA100P> <GHA110>

便器側

施工完了チェックリスト

施工後、このチェックリストにしたがって施工確認をしていただき、結果を記入のうえ、お客様にお渡しください。

No.	チェック項目	結果
1	キャビネットにがたつきはありませんか？	
2	配管部から水漏れはありませんか？	
3	給水栓から水は出ますか？	
4	扉のがたつきやゆがみはありませんか？	

⚠注意

凍結のおそれのある地域では、水抜きなどの凍結防止措置を行う
水漏れなどで家財などに損害を与えるおそれがあります。

パナソニック株式会社　水廻りシステムビジネスユニット
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地